



改訂版

西播磨地域ビジョン

～ 光と水と緑でつなぐ - 元気・西播磨～



平成23年10月

西播磨地域ビジョン委員会
西播磨県民局

目 次

改訂の趣旨

- 1 西播磨地域ビジョンの策定と地域ビジョン委員会の活動 1
- 2 西播磨地域ビジョンの点検と見直し 2

西播磨地域ビジョン策定（平成13年2月）以後の地域の変化、地域の特徴的な動き

- 1 西播磨地域の変化 3
- 2 西播磨地域の特徴的な動き 3
- 3 2040年の展望 4

地域像の達成状況、評価

- 1 地域像の達成状況 6
- 2 西播磨地域ビジョン委員会活動の振り返り 8

地域の新たな課題等 16

- 【参考】西播磨地域ビジョン委員等を対象に実施したアンケート調査結果 17

地域の夢

- 現行地域ビジョン 22
- 改訂地域ビジョン 23
- 第1の夢：人の輪社会・西播磨
“ふれあいを大切に、豊かな人間関係をつくろう” 24
- 第2の夢：安全安心社会・西播磨
“住みなれた地域で支え合ってともに生きよう” 26
- 第3の夢：環境王国・西播磨
“人と自然が共生する美しい西播磨をめざそう” 28
- 第4の夢：きらきら西播磨
“にぎわいと交流の元気な地域をつくろう” 30

新たな地域の夢を実現するための重点プログラム

- 西播磨重点アクション項目 32
- シンボルプロジェクト 37

西播磨地域ビジョンの実現に向けて 38

- 【資料1 1】西播磨地域夢会議の結果概要(平成22年3月6日) 40
- 【資料1 2】西播磨地域夢会議の結果概要(平成22年8月7日) 42
- 【資料1 3】西播磨地域夢会議の結果概要(平成23年3月19日) 44
- 【資料1 4】西播磨地域夢会議の結果概要(平成23年6月5日) 46
- 【資料2】兵庫みらいフォーラム(姫路会場)のテーブル意見 48
- 【資料3】西播磨地域ビジョン検討委員会 49

表紙の「播磨科学公園都市(SPring-8)」の写真は理化学研究所から提供をいただいています。

改訂の趣旨

人口減少、少子高齢化社会の到来の中、2015（平成27）年頃を想定年次とする「西播磨地域ビジョン」（以下、「現行地域ビジョン」という。）の見直しを行い、改訂版「西播磨地域ビジョン～光と水と緑でつなぐ - 元気・西播磨～」(以下、「改訂地域ビジョン」という。)を策定した。

改訂地域ビジョンの策定にあたっては、時代の変化とともに顕著になってきた地域の課題、地域住民の意識、これまでの西播磨地域ビジョン委員会の取組の成果を踏まえ、30年後の2040(平成52)年の西播磨地域の姿を展望し、地域ビジョンが描く地域像、目標像を確認しつつ、改訂を行った。

また、現行地域ビジョンが姫路市・神河町・市川町・福崎町を含んだ中播磨地域も対象としており、改訂地域ビジョンにおいては、西播磨地域ビジョン委員会のエリアである4市3町（相生市・たつの市・赤穂市・宍粟市・太子町・上郡町・佐用町）を対象とする「西播磨地域」にふさわしい内容に改訂した。

あわせて、この地域像、目標像の実現に向けて、地域住民、企業、団体、行政など様々な主体により重点的に取り組まれるべき行動の方向性を示した。

区分	現行ビジョン	改訂ビジョン
策定年月	2001 (H13)	2011 (H23)
想定年次	2015 (H27)	2020 (H32)
展望	2030 (H42)	2040 (H52)

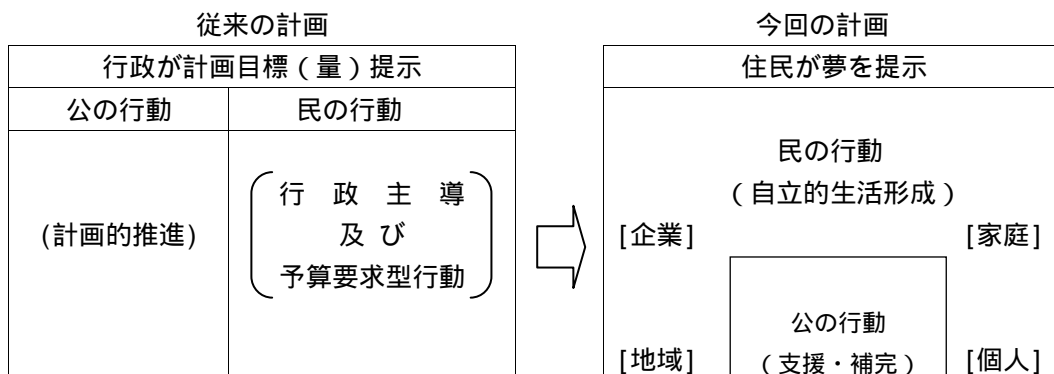
1 西播磨地域ビジョンの策定と地域ビジョン委員会の活動

平成13年2月に西播磨地域夢21委員会(事務局：西播磨県民局)によって、「西播磨地域ビジョン」が策定された。

策定後の13年4月に県民局が中播磨県民局（姫路市・神河町・市川町・福崎町を所管）と西播磨県民局（相生市・たつの市・赤穂市・宍粟市・太子町・上郡町・佐用町を所管）に分割されたことに合わせて、中播磨地域ビジョン委員会と西播磨地域ビジョン委員会がそれぞれ活動を開始した。

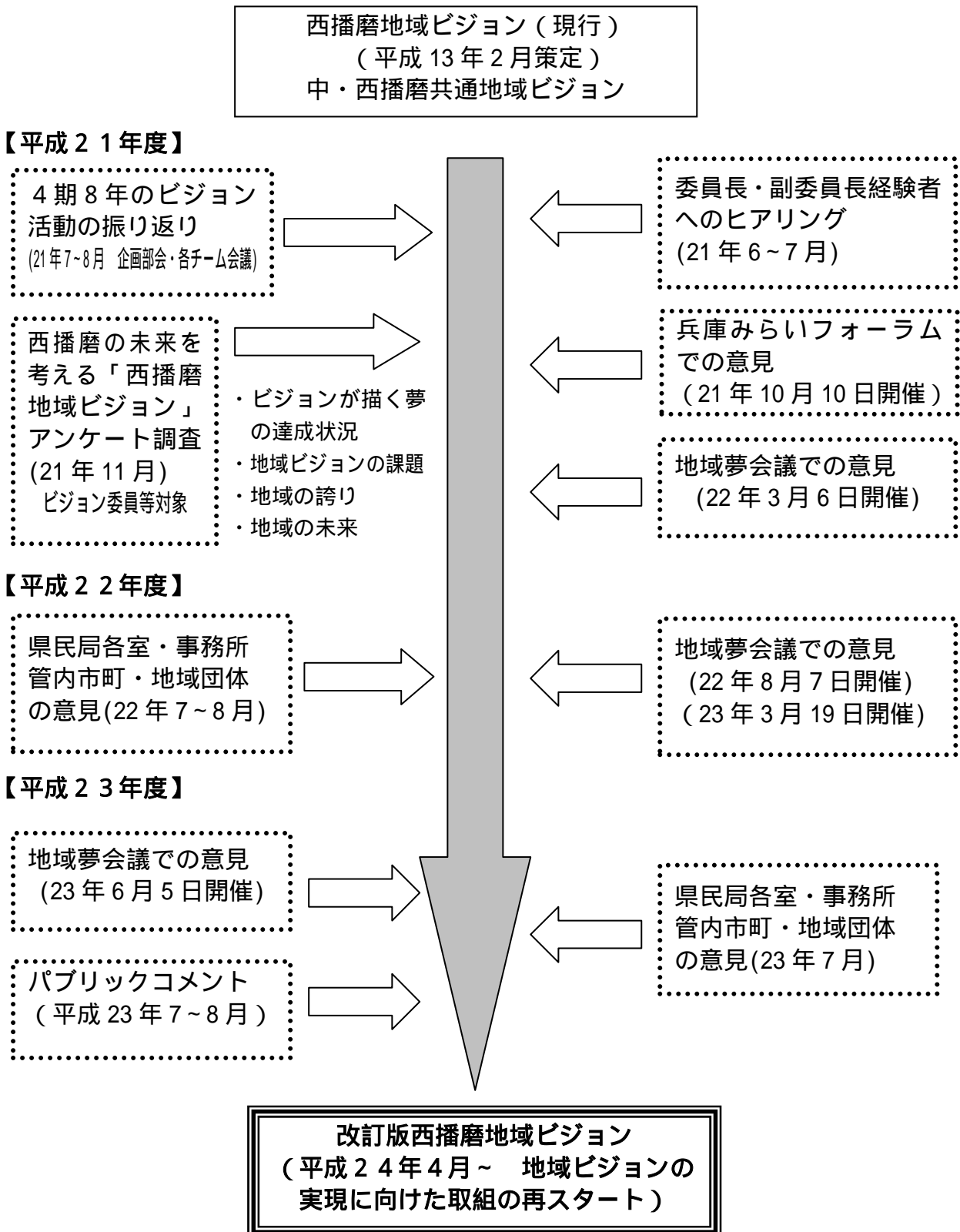
【参考】現行地域ビジョン策定の考え方（「西播磨地域ビジョン」(平成13年2月)より抜粋）

行政がすべてをリードする時代は終わろうとしています。これからは、多様な価値観を共有しつつも、個人も、家庭も、地域も、企業も、行政も、ともに手を携えて、共有、共感できる地域の夢に向かって取り組んでいく必要があります。ビジョン実現の主役は、いま行政から住民にバトンタッチされようとしているのです。



2 西播磨地域ビジョンの点検と見直し

前記の趣旨に基づき、以下の手法により、西播磨地域ビジョンの点検と見直しを行った。



見直しにあたって、西播磨地域ビジョン委員会に、検討委員会を設置して検討を行った。(平成21年9月設置)

<見直しの視点> 時代の変化に対応した内容に見直す
西播磨地域にふさわしい内容に見直す
類似の内容はまとめる

西播磨地域ビジョン策定（平成13年2月）以後の地域の変化、地域の特徴的な動き

1 西播磨地域の変化

(1) 市町合併の促進

1 7市町（3市14町） 7市町（4市3町）

安富町は姫路市に編入されたため、中播磨地域へ

(2) 人口減少

287,780人（H12.10.1国勢調査） 272,537人（H22.10.1国勢調査速報）
（15,243人、94.70%）

姫路市に編入された安富町を含まない人口比較

(3) 進む少子高齢化

（人）

区分	H12(2000)	H17(2005)	増減（H17対H12）
年少人口 (0～14歳)	44,339 (15.4%)	40,104 (14.3%)	4,235(9.6%)
生産年齢人口 (15～64歳)	185,465 (64.4%)	175,811 (62.7%)	9,654(5.2%)
老年人口 (65歳～)	57,958 (20.1%)	63,785 (22.8%)	5,827(10.1%)
総人口	287,780	280,302	7,478(2.6%)

国勢調査(10月1日)による。

2 西播磨地域の特徴的な動き

(1) 地域住民の参画と協働の取り組みが進展

「出る杭大会」の開催

“出る杭を育てよう”をねらいに、夢を持って新しい分野に挑戦し、人や地域社会を元気にしようと取り組んでいる団体・個人に活動の場を設け、“出る杭”と“出る杭”を結びつけるために平成14年から開催している。

「県民交流広場事業」など住民参加事業の展開

「県民交流広場事業」(平成18年度本格実施)、「地域づくり活動応援事業」(平成15年～)、「地域ぐるみ安全対策事業」など住民参加による事業が展開される。

のじぎく兵庫国体へ向けた千種川「花の堤防づくり」

平成18年のじぎく兵庫国体の開催に向けて「美しい県土づくり」を推進するため、道路沿いを中心とした木柵内に地元自治会等の参画と協働のもと「花の堤防づくり」が推進された。

ホタルの復活

平成16年の台風災害により、佐用町ではホタルの生息が激減したが、その復活を望む声が地域の人々からあがった。そのため、佐用町の「矢原山ホタルむら」(金子集落住民で構成)の協力を得て、ホタル復活作戦を行った。

西播磨なぎさ回廊づくり

地域住民組織「西播磨なぎさ回廊づくり連絡会」が平成19年5月に組織され、環境学習や情報発信活動、地域イベントへの参加などを行っている。

(2) 地域の交通基盤の整備

播磨自動車道・鳥取自動車道の開通

高速道路ネットワークにより、岡山県・鳥取県との交流促進、連携強化が期待される。(播磨自動車道・播磨JCT～播磨新宮IC開通(H16.3)、鳥取自動車道・佐用JCT～大原IC開通(H22.3))

ＪＲ姫新線高速運転・増便社会実験

ＪＲ西日本が事業主体となって、兵庫県、沿線市町（姫路市、たつの市、佐用町）と協力しながら輸送改善事業を推進するとともに、沿線市町では利用促進・地域の活性化に取り組んでいる。平成 21 年 3 月には、新型車両が導入され、平成 22 年 3 月より高速運転及び 2 年間の増便社会実験が行われている。

(3) 播磨科学公園都市のまちづくり

施設オープン

平成 13 年度以降には以下の施設等が順次オープンし供用されている。

- ・粒子線医療センター（H13.4）
- ・西播磨総合庁舎（H14.7）
- ・県立西はりま養護学校（H17.4、H19.4 に「県立西はりま特別支援学校」に校名変更）
- ・西播磨総合リハビリテーションセンター（H18.7）
- ・県立大学附属中学校（H19.4）
- ・兵庫県放射光ナノテク研究所（H20.1）
- ・ひょうご環境体験館（H20.4）

企業立地の進展

播磨科学公園都市では、企業庁の支援制度、産業集積条例、企業立地促進法に基づく基本計画の策定による地元市町の優遇措置などの活用により、企業誘致が促進され、都市内（第 1 工区）の産業用地の分譲が進んでいる。

(4) 度重なる自然災害

平成 16 年台風第 21 号に続き、平成 21 年台風第 9 号に伴う豪雨では、西播磨地域において人的被害をはじめ、市街地の浸水、河川、道路、農地・農業用施設等の損壊や農産物被害など、各地に甚大な被害をもたらした。

3 2040年の展望

(1) 更に進む人口減少

西播磨地域の人口は、現在の約 27 万人から 2040 年頃には 7 万人少ない約 20 万人となる見込みである。

(2) 更に進む少子高齢化と生産年齢人口の減少

出生率の低下に伴い、西播磨地域の年少人口（0～14 歳）は、現在の 3 万 7 千人から 2040 年頃には、ほぼ半減し約 2 万人となる見込みである。また、老年人口（65 歳以上）は、7 万人から約 8 万人に増加する見込みである。

生産年齢人口（15～64 歳）は、現在の 16 万 5 千人から約 10 万人に大きく減少し、経済活動の担い手の減少から地域経済の活力維持が課題となる。

(3) 小規模集落の増加

人口減少、少子高齢化が進む多自然地域の集落においては、空き家の増加、耕作放棄地の拡大、獣害の拡大などが進行し、生活機能の維持が難しくなる小規模集落（ ）が増加すると予測される。

小規模集落：県が推進する「小規模集落元気作戦」での整理では、65 歳以上人口比率 40% 以上かつ 50 世帯以下の集落（まちの中心部や鉄道駅周辺集落などを除く）2010 年西播磨 54 集落。

(4) 地域活性化に向けたまちづくりの進展

過疎化、高齢化等の進展により、多自然地域を中心に地域の活力が失われつつあるが、地域の活性化に向けた住民主体のまちづくりの取組が進展すると予測される。

小規模集落元気作戦など地域再生の取組（宍粟市千町など 13 集落（2010））

県民交流広場事業の取組（43 校区（2010））

出る杭大会参加団体など地域団体・グループの取組（第 10 回出る杭大会参加団体 44 団体、平成 23 年度地域づくり活動応援事業申請団体 12 団体）

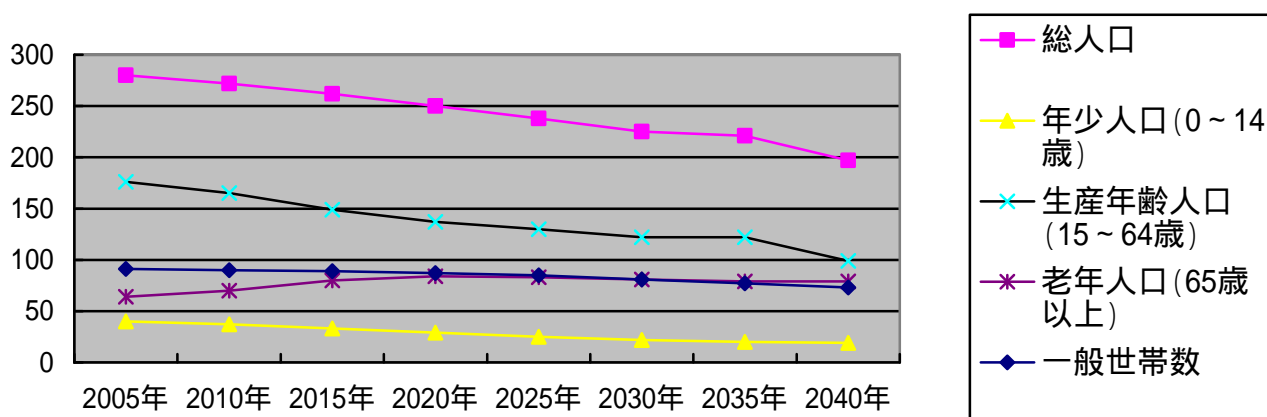
西播磨の豊かな食を通じたまちづくり（赤穂塩ラーメン、たつののモチ汁、相生のかきピロ、宍粟の猪鹿鳥料理、太子みそ、上郡の円心モロどん、佐用ホルモン焼きうどん など）

【資料 1 西播磨地域の人口・世帯数予測】

（単位：千人、千世帯）

年	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	05 比
総人口	280	272	262	250	238	225	221	197	70.4%
年少人口（0～14 歳）	40	37	33	29	25	22	20	19	47.5%
生産年齢人口（15～64 歳）	176	165	149	137	130	122	122	99	56.2%
老年人口（65 歳以上）	64	70	80	84	83	81	79	79	123.4%
一般世帯数	91	90	89	87	85	81	77	73	80.2%

（出典：兵庫県ビジョン課調べ）



【資料 2 社会の変化や課題の例示】

「21 世紀兵庫長期ビジョン - 2040 年への協働戦略（仮称）」から抜粋

（平成 23 年 8 月、兵庫県企画県民部政策室ビジョン課作成）

1 ビジョン策定後顕著になった時代潮流

- (1) 人口減少社会の到来
- (2) 価値観と豊かさの変容
- (3) 世界経済の多極化と複雑化
- (4) 地球の限界
- (4) 情報化の光と影
- (5) 公と民をめぐる変化

2 時代潮流の変化や県民意見から見えてきた課題群

(1) 「豊かな生活」

家族が小さくなる中でつながりの構築、地域で支えあい創りだす安心な生活基盤の構築、雇用環境の整備と多様な働き方の実現、強まる健康と安全安心の追求

(2) 「世界に開かれた兵庫」

世界や地域でさまざまな結びつきが求められる経済・産業、拡大・深化が求められる多文化との交流・共生

(3) 「持続する地域構造」

困難となる自然との共生と集落の衰退が進む多自然地域の農山漁村、疎住化が進む地方都市、世代交代が停滞する郊外のニュータウン、人口集中が当面継続する瀬戸内沿岸部の都市、地域の自立・活性化に向けた課題

地域像の達成状況、評価

1 地域像の達成状況

現行「西播磨地域ビジョン」の掲げる『6つの夢』の達成状況について、西播磨地域ビジョン委員等を対象にアンケート調査を実施した。

(対象122人、有効回答数75人、回収率61.5%)

結果は以下のとおり。

第1の夢：「生きがいを持って暮らそう(自己実現社会)」に関して。

設問：働くことや学ぶことを通じて、一人ひとりの夢が実現できる(実現しやすい)地域になっているか。(人)

思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	思わない
5	16	45	9
6.7%	21.3%	60.0%	12.0%

第2の夢：「人と人が創る豊かな人間関係を広げよう(人の輪社会)」に関して。

設問：三世代、老若男女の交流を深め、心豊かに暮らせる(暮らしやすい)地域になっていると思いますか。(人)

思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	思わない
6	27	34	8
8.0%	36.0%	45.3%	10.7%

第3の夢：「住み慣れた地域で支え合ってともに生きよう(安心安全社会)」に関して。

設問：みんなが助け合う健康で安心安全な社会に、西播磨地域はあてはまると思えますか。(人)

思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	思わない
6	34	33	1
8.0%	45.3%	44.0%	1.3%

第4の夢：「人と自然の営みが調和した循環型社会をめざそう(環境王国)」に関して。

設問：西播磨の豊かな山、川、海などを育てることができていると思いますか。(人)

思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	思わない
5	32	34	4
6.7%	42.7%	45.3%	5.3%

第5の夢：「うるおいとにぎわいのある地域をつくろう（日本の祭都）」に関して。

設問：文化・歴史をいかした街づくり、緑豊かな住環境の形成ができていますか。
(人)

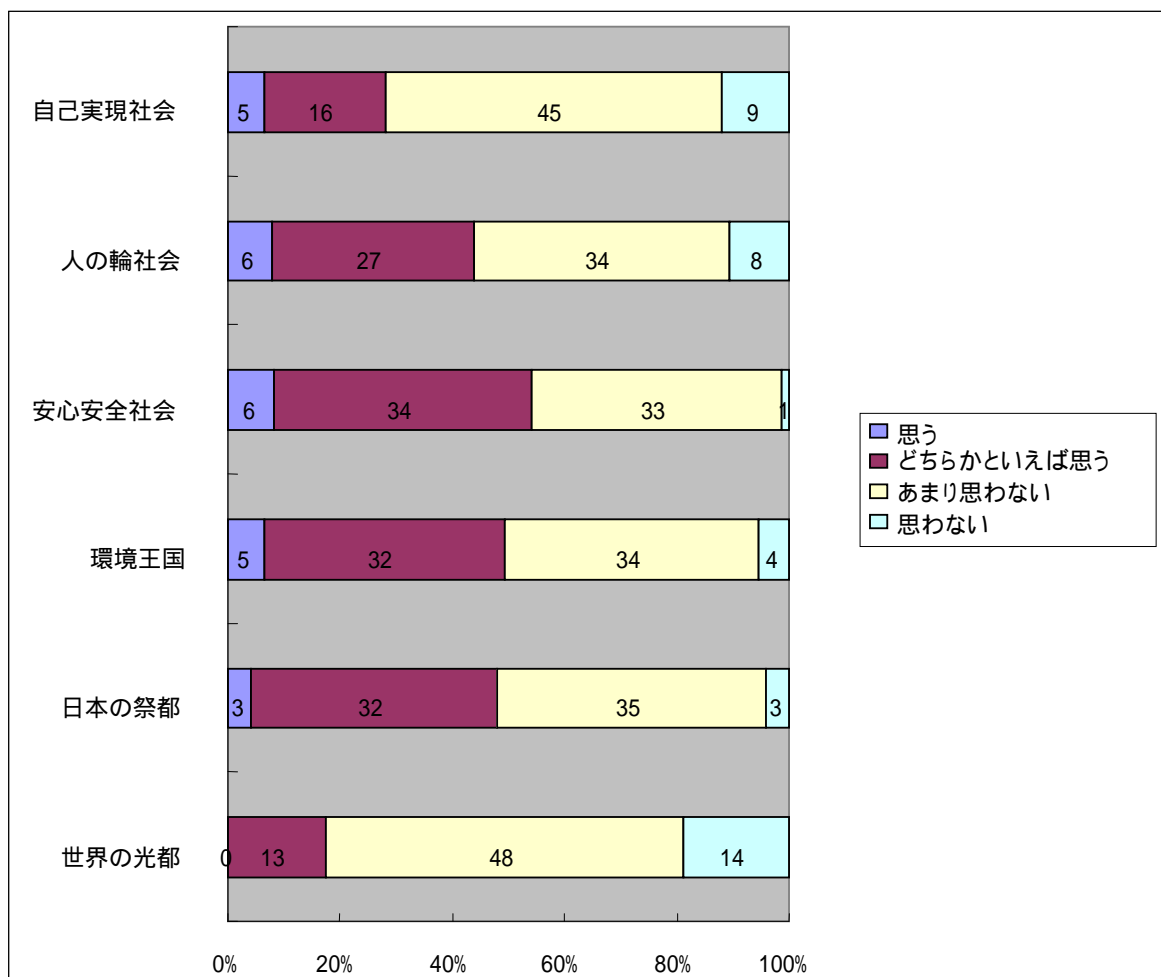
思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	思わない
3	32	35	3
4.0%	42.7%	46.7%	4.0%

第6の夢：「世界につながる創造的で活力ある社会をめざそう（世界の光都）」に関して。

設問：創造的産業活動の支援、世界レベルの先端企業誘致ができていますか。
(人)

思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	思わない
0	13	48	14
0.0%	17.3%	64.0%	18.7%

(人)



「安心安全社会」次いで「環境王国」、「人の輪社会」、「日本の祭都」は、「どちらかといえば」を含み半数近くが実現が図られていると回答している一方、「自己実現社会」、「世界の光都」については「あまり思わない」、「思わない」をあわせると7割を超える。

2 西播磨地域ビジョン委員会活動の振り返り

ビジョン委員会の5期10年(H13~H22)の取り組みを振り返り、これまでのビジョン活動の取り組み・成果と課題について、まとめた。

(1) ビジョン活動の取組・成果と課題

ビジョンが示す将来像・目標	これまでのビジョン活動の取組・成果	課題
<p>「生きがいをもって暮らそう」 (自己実現社会・西播磨)</p> <p>「人と人が創る豊かな人間関係を広げよう」 (人の輪社会・西播磨)</p>	<p>子育て中の人や子育て支援団体とのネットワークの輪を広げるとともに、人の交流と子育て支援情報の共有化を図った。</p> <p>【具体内容】 子育て支援情報誌「わっ！と西播磨」の継続した発行と配布。 各種イベントに参画し、親と子の休憩所を運営。 平成21年台風第9号による被災保育園を訪問し、メンタルケアを実施。 論語の素読や絵本の読みがたりなど子どもの健全に資する活動を展開。</p>	<p>子育てについて、地域で支え合う意識の醸成。 食育に関する取り組みや給食での地産地消などの取り組み。</p> <p>子育てに関するもっと細かな支援。 本当に必要とされている場所での活動ができていない。 父親を取り巻く子育て条件の整備が必要。 地域通貨の導入など地元活性化に関する取組が、消極的になってきている。</p>
<p>「住みなれた地域で支え合ってともに生きよう」 (安心安全社会・西播磨)</p>	<p>障がいのある人の社会参加支援の促進。 小規模作業所等を地域に認知してもらった。 障がいのある人が、安心して施設利用ができるようになった。 自主防災組織の活性化、減災教育などの取り組み。</p> <p>【具体内容】 西播磨観光福祉マップの発行。 西播磨おでかけ福祉マップの発行。 西播磨福祉トイレマップの発行。 西播磨小規模作業所等紹介冊子を発行。 自主防災組織に関するアンケート調査報告書の作成。 防災体制のあり方についての意見交換会を開催。</p>	<p>地域社会で高齢者や障がい者を支え合うコミュニティづくり。 災害時の避難場所情報の地域住民への周知。 子どもや高齢者が安心して出かけることのできるまちづくり。 防災イベントなど裾野の広い取り組み。 課題の共有や解決策の提示。</p>

ビジョンが示す将来像・目標	これまでのビジョン活動の取組・成果	課題
<p>「人と自然の営みが調和した循環型社会をめざそう」 (環境王国・西播磨)</p>	<p>ゴミの減量化や省資源化への意識の高まり。 西播磨地域の恵まれた「森・川・海」を活かした環境創造活動につないでいくとともに、環境保全の意識の高まり。 豊かな清流を育む森林を保全するため、上下流住民の交流が進み、森林保全の必要性について、意識が高まった。 次世代を担う子どもたちの自然環境意識の高揚。</p> <p>【具体内容】 「マイバッグ持参キャンペーン」の実施。 環境意識啓発用「のぼり旗」「ステッカー」「ジャンパー」の作成。 環境フォーラムの継続開催 生活排水の改善に向けた普及啓発リーフレットの作成。 小学生向けDVDを製作し、全小学校に配布。 EM(有用微生物群)を用いた環境美化活動。 「西播磨で頑張ってる農業の事例集」の作成。</p>	<p>環境保全意識の輪を拡げること。 環境に負荷をかけないライフスタイルの確立。 実際に、森・川・海の現状を見て、課題を認識してもらえようような取り組みが必要。 子どもや親子を対象にした、西播磨の環境を体感できるような取り組みを考えるべき。 小規模集落の現状と課題がどのようなものか知る必要がある。 農業の衰退は耕作放棄田の増加など災害を招く原因ともなっているため、県民・民間団体・行政が協力して農業の振興を支援する必要がある。</p>
<p>「うるおいとにぎわいのある地域をつくらう」 (日本の祭都・西播磨)</p> <p>「世界につながる創造的で活力ある社会をめざそう」 (世界の光都・西播磨)</p>	<p>西播磨の地域資源の情報を収集し、発信。 西播磨を元気にするイベントの企画・運営。 サービス(おもてなし精神)に焦点をあてた地域活性化の推進。</p> <p>【具体内容】 ふれあいフェスタ、オータムフェスタへの参画。 サービスレポートの発行。 県境エーとこの発掘とマップの作成。 西播磨一斉打ち水の提案。</p>	<p>地域としての一体感や誇りを高め、賑わいある地域づくりを行うこと。 地域で活動しているグループや人のネットワーク化。 サービスを軸に、西播磨地域の魅力を高める。 県際交流の推進と地域活性化をテーマに新たな取り組みを進める。 西播磨に住んでいても西播磨のことをよく知らないことが多い。</p>

(2) 県民行動プログラム〔1期:H13-17〕について

県民行動プログラムにおいて、西播磨重点アクション項目について推進した。

【重点アクション項目の主な取組】

項目	実施状況	課題等
出る杭大会の開催・出る杭大賞の選定	西播磨フロンティア祭のイベントにあわせ、「出る杭大会」を開催。 来場者の投票や地域ビジョン委員の審査により「出る杭大賞」などを選定した。	出る杭大会参加へのPR及び副賞のための募金活動の継続。
西播磨C I (コミュニティ・アイデンティティ)運動の推進	西播磨の誇りを地域内外の多くの人にアピールするため、西播磨の地域資源を収集し、情報発信。 ビジョン委員から寄せられた地域資源情報(約300件)を整理した。	西播磨ツーリズム振興協議会等との連携による、モデルコースの設定等。
「みんなの保育室」の開設、育児ポテンティアによる一時預かり	地域内各地で活動している「西播磨子育て応援団」と連携を図るため、合同交流会を開催した。 西播磨地域に子育て支援のネットワークの輪を広げることと、子育て奮闘中の方々への支援情報の提供を目指し、ビジョン委員自らが各市町へ出向き、「まちの子育てひろば」、幼稚園、保育所等の資料・情報を収集し「あなたの町の子育てサポートブック」を作成、配布した。	「サポートブック」の関係者へのPR、普及を進めて、子育て支援ネットワークの構築をめざす。
福祉マップ等の作成	障がいのある人の社会参加支援を目的として、車イスの方が外出した際の利便性・安全性の向上を図るため、「西播磨福祉トイレマップ」を発行した。 小規模作業所等を地域に認知してもらうことを目的に「西播磨の小規模作業所等紹介冊子 - いのち・かがやく - 」を作成した。	小規模作業所等紹介冊子の発行を契機として、小規模作業所等間のネットワーク化を進める。
西播磨「森と川と海の月間」の設定	西播磨地域の恵まれた「森・川・海」を活かし環境創造活動につないでいくとともに、環境保全の意識を醸成するため、子どもたちの夏休みである7・8月を西播磨「森と川と海の月間」として設定した。 夏休み期間中に、森・川・海で行われる行事をとりまとめたりフレットを作成し、西播磨地域の小学生全員に配布した。	森・川・海で行われる行事を紹介しつつ、水生生物観察会等の自然と親しむためのイベント活動の展開。
地域通貨制度(エコマネー)の導入	西播磨地域におけるボランティアの輪を広げ、高齢者の介護、育児補助など、多様な分野で助け合いを進めるための手段として、地域通貨制度(エコマネー)の導入を図ることを研究。 先進地として、龍野地区地域通貨「とんぼ」の実施状況を視察。	エコマネーの導入を検討している個人・団体の支援が必要。
西播磨統一「マイバッグ持参キャンペーン」の展開	ゴミの減量化や省資源化への意識を高めることを目的とし、既存の取組をネットワークしつつ、西播磨統一「マイバッグ持参キャンペーン」を実施する。 「出る杭大会・西播磨ふるさとバザール」や「ふれあいフェスタ」等の会場において、ゴミ持ち帰りパトロール隊による『ゴミ持ち帰り運動』を実施し、会場ゴミの減量化に成果をあげた。	意識啓発活動の展開。 西播磨地域で開催されるイベントにおいて、ゴミ持ち帰り運動の輪を広げる。
上下流の人をつなぐ森林保全のための意識啓発	山林(上流域)を対象に波賀町で観察会を開催し、台風被害現況を含め、森林保全の意識啓発の必要性・重要性の再認識の場とした。 海(下流域)を対象に相生湾の観察会に合わせて、「環境フォーラム in あいおい」を開催し、西播磨各地より参加者を得て、上下流住民の交流を図り、意見交換等を行い森林保全に対する再認識の場とした。	上下流住民の交流と相互の理解を深めながら、併せて森林保全の意識啓発を行う。

(3) 県民行動プログラム〔2期:H18-22〕について

県民行動プログラムにおいて、西播磨重点アクション項目について推進した。

【重点アクション項目の主な取組】

項目	実施状況	課題等
出る杭大会の開催・出る杭大賞の選定	西播磨フロンティア祭のイベントにあわせ、「出る杭大会」を開催し、毎年1万人を超える来場者で賑わった。来場者の投票や地域ビジョン委員による審査により「出る杭大賞」などを選定。各種のイベント会場において、大会参加へのPR及び募金活動や企業等への協賛依頼を行った。	地域づくり活動団体のつながりの輪を広げる方策を検討していく。
子育て支援情報の収集と発信	子育て中の人たちや子育て支援団体とのネットワークの拡大と子育て支援情報の共有化に取り組んだ。ビジョン委員が取材・編集した子育て支援情報誌「わっ!と西播磨」を発行し、西播磨地域の全小学校、幼稚園、保育所などに配付した。フロンティア祭、ふれあいの祭典、森の祭典など各種イベントに参加し、親と子の休憩所を運営した。	情報誌の定期的な発行を行う。子どもたちや母親を中心としてイベントを企画する。
地域通貨の導入	西播磨地域におけるボランティアの輪を広げ、地域社会に地域通貨を流通させることにより、人と人を結びつけ、地域社会の活性化を図ることを目的として、先進事例の「ひまわり」(太子町)、「べいろん」(相生市)などの実施状況を調査した。	地域内で地域通貨の導入を検討している個人・団体の支援。
環境保全意識の伝達	西播磨地域の恵まれた「森・川・海」を活かし環境創造活動につないでいくとともに、環境保全の意識を醸成し環境保全の輪を広げていくことを目的に、環境意識啓発の「のぼり旗」「ステッカー」「ジャンパー」を作成し、各種イベントなどでPR活動を行った。	各地で開催されるイベントにおいて、啓発グッズを使った啓発活動を行う。
身近な森林・里山の保全と地元産木材の利活用	小学生を対象に、各地域での環境保全の取組紹介や森川海の連携した自然環境保全の重要性を認識してもらうための映像(DVD)を作成し配布した。赤西渓谷や坂越海岸の現地視察や、森林の価値や重要性をアピールするポスターを作成し、森林保全の必要性の意識啓発を行った。「環境フォーラム in あいおい」を開催し、上下流住民の交流を図り、意見交換等を行い森林保全に対する再認識の場とした。	学校、自治会、森林組合などと連携した森林環境学習の推進。
福祉(安心安全)マップなどの作成	施設の案内板の有無やスロープ・手すりの設置状況など項目ごとの一覧表と高齢者関連施設を掲載した「西播磨福祉マップ」を作成し、配布した。障がい者等の社会参加を支援するため、安心して楽しめる施設紹介マップ「西播磨おでかけ福祉マップ」を作成、配布した。	既存マップの内容充実を図る。
安心安全なまちづくりの推進	広域防災拠点、E-ディフェンスの実物大実験、耐震補強工事の現地見学を実施した。今後の防災体制のあり方(行政と地域の連携、要援護者の対応、情報伝達、人材育成、自主防災組織など)についての意見交換会を実施した。	自主防災組織の活性化、減災教育、行政施策との協働など。
西播磨のえーとこの発掘と発信	西播磨の地域資源を情報収集し、「西播磨の誇り」として地域内外の多くの人への発信に取り組む。各地の人々から寄せられた「西播磨のおすすめスポット」情報を現地訪問し、生の最新情報を発信した。	データを活用した地域の活性化につながる方策を検討。
西播磨の元気盛り上げ隊	企画から運営まで西播磨の地域住民が主体となって開催した「オータムフェスタ in テクノ」に参画、「ステージ」の企画運営や「ちびっこミニサッカー大会」等を担当した。サービス(おもてなし精神)に焦点をあてた地域活性化に取り組むため、先進的な取組事例地の視察、勉強会を開催した。サービスを軸に地域活性化を考える情報誌「サービスレポート」を発行した。	サービスに関するアンケートを実施し、今後の地域活性化の方策を検討していく。

(4) 行政推進プログラム〔1期:H13-17〕について

行政推進プログラムにおいて、重点展開事業「フロンティア10」として位置付けられた事業について、重点的に推進した。

【フロンティア10の主な推進状況】

重点展開事業	主 な 事 業 の 実 施 状 況	参画と協働の状況
<p><フロンティア1></p> <p>知が拓く先端創造産業づくり</p>	<p>1. <u>先端科学技術の風土づくり</u> SPring - 8 など施設の一般公開 「青少年のための科学の祭典」 「青少年サマー教室」 「科学学習体験ツアー」 新都市「文化サロン」活動への支援</p> <p>2. <u>科学技術と産業の連携・融合、産・官・学の連携</u> 西播磨ビジネスチャンス会の開催 播磨サロン交流会の開催 放射光の産業利用促進セミナー等の開催 放射光施設利用説明会の開催 放射光施設相談・見学会の開催</p>	<p>県立姫工大生、附属高校生が運営に参画。</p>
<p><フロンティア2></p> <p>時が刻む森の新都市づくり</p>	<p>1. <u>街を活用する</u> 西播磨ふれあいフェスティバル ふれあいフェスティバル in テクノ 西播磨フロンティア祭、出る杭大会</p> <p>2. <u>新たな磁場（魅力施設）をつくる</u> 県立粒子線医療センターの一般診療開始 県立西はりま特別支援学校の開設 総合リハビリテーションセンターランチの設置</p>	<p>地域住民による西播磨ふれあいの祭典実行委員会設置・企画運営。地域住民等によるイベントの企画及びビジョン委員による企画運営。</p>
<p><フロンティア3></p> <p>西播磨「水と緑の郷」構想</p>	<p>1. <u>水と緑の郷づくりの推進</u> 「水と緑の郷づくり」構想の策定 「水と緑の郷づくり」モデル地域の設定、地域景観づくり指針の作成等（モデル地域：相生市矢野地区外4地区、地産地消月間の設定ほか）</p> <p>2. <u>農産物や農山漁村を活かした産業の育成</u> アグリライフ創造拠点の整備（相生市：ふるさと交流館等） アグリライフ創造拠点の整備（赤穂市：農産物直売施設） 地域農産物の消費拡大対象事業（「はりまるしえ」の開催）の推進 アグリビジネス推進事業（農林業系高校との連携・農産物開発講座）</p>	<p>地域住民の検討への参画、パブリックコメントの実施。</p>
<p><フロンティア4></p> <p>花名所・特産品販売とツーリズム振興</p>	<p>1. <u>西播磨ツーリズム振興推進体制の整備</u> 西播磨ツーリズム振興協議会の設立 (構成：市町・商工会・観光協会等)</p> <p>2. <u>西播磨ツーリズムの振興・推進</u> 西播磨の農村風景マップの作成、及び「旅の茶舎」登録制度の実施 ツーリズムモデルコースの設定、モニターツアーの実施、「旅の茶舎」の普及等（施設の案内パンフレット作成等）</p>	<p>地域実践活動家の参画。</p>
<p><フロンティア5></p> <p>人情と自然あふれる生活都市づくり</p>	<p>1. <u>人間サイズの市街地活性化</u> まちづくり交付金の活用（赤穂市：加里屋地区） 土地区画整理事業の実施（相生市：駅南地区） 土地区画整理事業の実施（龍野市：土師・南山地区） 障害者セーフティネット事業の実施（社会参加のためのミニフォーラムの開催等）</p>	<p>地域団体・住民等の検討への参画。</p>

重点展開事業	主 な 事 業 の 実 施 状 況	参画と協働の状況
<p><フロンティア6></p> <p>自然に抱かれた理想郷づくり</p>	<p>1. <u>しそ森林王国の賑わいづくり</u> しそ森林王国第2ステージ展開事業の支援 「国見の森公園」の事業促進 森林空間・林道・遊歩道等の整備（一宮町） 木材新技術利用プログラムの推進</p> <p>2. <u>川・海を活かした環境王国の実現</u> 「揖保川流域サミット」の開催 アユの泳ぐ川再生事業の推進（揖保川・千種川）（放流効果調査等の実施） 「緑豊かなふるさと川の川づくり」指針の策定 「西播磨なぎさ回廊計画」の策定</p>	<p>地域住民や森林ボランティア等と連携し施設の活用を図る。</p>
<p><フロンティア7></p> <p>子育て安心地域の構築</p>	<p>1. <u>子育てへの男女共同参画の推進</u> 男女共同参画社会づくり・少子化対策西はりまフォーラムの開催 男女共同参画社会づくりフォーラムの開催</p> <p>2. <u>子育てに関する相談・学習活動の充実</u> まちの子育てひろばの設置 「子どもの冒険ひろば」 ひょうごハート・ブリッジ運動の推進（メンバーの登録） 「若者ゆうゆう広場」 「子育て」地域協働プロジェクトの推進 「チャレンジファミリー」地域応援事業の推進</p> <p>3. <u>地域ぐるみ安全対策事業の推進</u> 地域ぐるみ安全対策事業の実施（地域防犯対策協議会設立等）</p>	<p>ボランティアによる一時保育の実施。</p> <p>地域住民・ボランティア等の参画。</p> <p>地域住民との協働。</p>
<p><フロンティア8></p> <p>西播磨健康元気社会づくり</p>	<p>1. <u>健康ひょうご21大作戦の推進</u> ひょうご「食の健康」運動の推進・食の健康運動リーダーの設置（調理、農業体験）</p> <p>2. <u>高齢者の参画と協働のしくみづくりの推進</u> いきいき元気高齢者活動支援事業の実施（福祉移送サービスの試行、やさしい知恵の名人活用等、「やさしい知恵の名人」啓発フォーラム）</p> <p>3. <u>地域活動の活性化支援</u> 地域団体活動パワーアップ事業の推進 県民交流広場づくりの推進 地域担い手養成・活用事業の実施</p>	<p>地域住民の協力。</p> <p>地域高齢者のやさしい知恵の名人登録への協力。</p>
<p><フロンティア9></p> <p>播磨科学公園都市を核とした交通ネットワークの構築</p>	<p>1. <u>播磨科学公園都市を核とした道路ネットワークの構築</u> 西播磨「くらしの道」緊急整備事業 西播磨「くらしの道整備プログラム」の実施</p> <p>2. <u>公共交通機関の維持</u> JR姫新線「鉄道利便性向上対策調査」の実施 JR姫新線「利便性向上政策アクションプログラム」の策定、実施</p>	<p>実施箇所の地元住民の意見を聴取。</p>
<p><フロンティア10></p> <p>わたしたちのまちの学校づくり</p>	<p>1. <u>子どもたちを地域で育む環境づくり</u> 「森・川・海」子ども環境学習推進事業(小学校)オープンスクール(学校公開)の実施</p>	<p>地域教育推進委員・地域住民が支援。</p>

(5) 行政推進プログラム〔2期:H18-22〕の進捗状況について

行政推進プログラムにおいて、「いきいき西播磨」、「美しい西播磨」、「すこやか西播磨」、「きらきら西播磨」の4つの目標像の実現をめざして10の行動を掲げ、施策の展開に取り組んでいる。

【10の行動の主な推進状況】

10の行動	主な事業の実施状況	今後の課題
つくろう : 地域を生かす 西播磨の農林 水産業	<p>1 <u>西播磨「水と緑の郷づくり」構想の推進</u> ホタルの舞う美しい水辺空間づくりの推進 多自然型川づくりの推進 はりまるしえ(量販店内の地元農産物販売コーナー) 6 2210 西はりま「食の達人数」 生産・加工部門 719 221,084 農産物加工部門 37 2291</p> <p>2 <u>県産木材の活用促進</u> 県産木材供給センターH22 本格稼働</p> <p>3 <u>農山村の機能維持・保全とほ場、農道などの整備の推進</u> 集落農業活性化プラン策定集落数 28 22165 ほ場整備面積 4,973ha 225,017ha</p>	安心安全な食材の提供、食育の推進、高齢者の技と伝統の継承、地域の再発見及び地域間のネットワーク化等の定着・発展自主的な活動への移行。端境期における直売所への農産物の供給方法の検討。
つくろう : 訪れる人を感動させる西播磨 ツーリズム	<p>1 <u>西播磨ツーリズムの振興</u> 「旅の茶舎」登録店舗数 57 2272</p> <p>2 <u>国道29号周辺地域の活性化の推進</u> 情報発信、広域観光マップ</p> <p>3 <u>JR赤穂線沿線地域の活性化の推進</u> かきまつり入込数 24,000 2238,000</p>	管内に点在するツーリズム資源のネットワーク化ツーリズム資源の魅力発信。効果的な情報発信、制度のPR。
つくろう : 元気に躍動する西播磨の産業	<p>1 <u>西播磨「広域産業活性化支援プログラム」の展開</u> ものづくり支援センター播磨の利用企業数 20 2234</p> <p>2 <u>地域産業・商業の活性化の推進</u> 商店街元気づくり事業助成団体数 ~ 2218</p> <p>3 <u>優良企業の立地促進</u> 産業集積条例などを活用した国内外の企業や研究所の誘致件数 ~ 2224件</p> <p>4 <u>多様な働き方と就業力向上への支援の推進</u> 認定職業訓練生数 ~ 22599人</p>	播磨地域の産業活性化と技術高度化の推進。景気低迷による企業の進出意欲の減退や訓練生数の減少。
つくろう : 美しさを誇れる西播磨の森・川・海・むら	<p>1 <u>“ホタル舞うふるさと西播磨づくり”に向けた環境行動学習の展開</u> ホタルを育む水辺の調査 「西播磨エコプレーヤー塾」の実施(年5回)</p> <p>2 <u>住民とともに創る美しい西播磨の推進</u> 岩見用水エコプロジェクト事業の実施</p> <p>3 <u>「西播磨なぎさ回廊計画」の推進</u> 通行手形の発行、イベントの開催</p> <p>4 <u>さわやかな環境づくりの促進</u> ひょうご環境体験館の利用促進 222.3万人</p>	地域に愛され親しまれているが、ゴミが投棄される事例も多く見られる。自然環境保全の普及推進活動を進めることが必要。地域交流、世代間の交流。多くの県民・環境活動団体等が施設を活用するようPR。

10の行動	主な事業の実施状況	今後の課題
つくり : 地球環境を守る西播磨の暮らし	<p><u>1 西播磨のゼロ・エミッションの推進</u> 「森のゼロエミッション」の推進 「揖保川緑のゼロエミッション」の推進</p> <p><u>2 ゴミゼロ社会の形成と産業廃棄物の不正処理防止対策の推進</u></p>	木質バイオマスの安定供給と新たな需要の拡大。地球温暖化に関する関心の高まり。
つくり : 健康・長寿・安心子育ての西播磨社会	<p><u>1 西播磨総合リハビリテーションセンターの整備、粒子線医療センターの利用促進</u> 西播磨総合リハビリテーションセンターの整備 18年7月リハビリ専門病院、研修交流センター供用開始</p> <p><u>2 小規模作業所・授産施設の自立支援の推進</u> 授産製品の販売促進の支援 4 226</p>	授産施設・小規模作業所の授産製品をより多くの人に知ってもらう機会を設けるとともに、販売力向上研修を開催するなど販売促進につなげていく。
つくり : 安全安心な西播磨の地域	<p><u>1 地域防災力の向上の推進</u> 小学校区単位の防災訓練などの実施率 80.3% 2288.1%</p> <p><u>2 交通安全対策の推進</u> 「ストップ・ザ・交通事故」県民運動の推進 交通事故死者数 30 2220 人身事故数 2,217 221,854</p>	自主防災組織の活性化。地域防災訓練等の効果的な実施。
つくり : はつらつと活動する西播磨の人	<p><u>1 出る杭大会の充実・継続化と地域づくり活動の活性化支援に向けた組織づくりの推進</u> 協働のシンボル・プロジェクトの推進</p> <p><u>2 西播磨らしい県民交流広場の展開</u> 県民の交流の支援によるコミュニティの再生・構築 4 校区 2248 校区</p> <p><u>3 地元自治会とともに創る「花の堤防」の推進</u> 花・緑活動団体数 394 22548</p>	地域づくり活動団体のつながりの輪を拓ける。 助成期間終了後の継続的な活動に向けた支援。
つくり : みんなに愛される西播磨の風土	<p><u>1 播磨科学公園都市を核とした道路ネットワーク整備の推進</u></p> <p><u>2 JR 姫新線、赤穂線、山陽本線などを中心とした在来線の利便性向上の推進</u> 姫新線の高速化（H22.3 開始）</p> <p><u>3 県際交流の推進</u> スタンプラリー、交流マップ等の製作</p>	交流の促進。 鉄道利用者数。 県境での不便性。
つくり : 世界に注目される西播磨の資源	<p><u>1 科学技術と産業の連携・融合の推進</u> 産業集積条例などを活用した国内外の企業や研究所の誘致件数 ~ 2224 件（再掲）</p> <p><u>2 先端科学技術の風土づくりの推進</u> 青少年のための科学の祭典 1,239 人 221,346 人 SPring-8 などの施設の一般公開</p>	放射光産業利用の一層の促進。 効果的なPR。

地域の新たな課題等

食育に関する地域の取り組み

ライフスタイルの変化や、家族で食事をする機会の減少などにより、健全な食生活や食文化の継承、健康の確保が課題となっている。食に関する知識や食を選択する判断力を身につけるための学習等、地産地消の推進と併せて、食育に関する地域の取り組みが必要となっている。

地域資源を活かしたまちづくり

引原ダムでは、静穏なダム湖面を活用したカヌーの“メッカ”づくりが進められ、宍粟市一宮町千町の「岩塊流」や宍粟鉄に係る「たたら遺跡」では保存活用策が検討され、住民による平福の町並み保存や西播磨の「なぎさ」に関する取り組みなどが活発になってきている。

地域のイメージアップや観光・交流人口の増加による地域の活性化をめざし、こういった地域資源を活かしたまちづくりの取り組みが期待されている。

県際交流

西播磨地域は、岡山・鳥取県境に接しており、この特徴を活かした広域的なツーリズムを推進するため、岡山・鳥取両県をはじめ関係市町村等と連携し、観光資源の共同PRなどの事業を展開している。今後とも「交流」を発展させ、交流人口の増加や県際地域の活性化が期待されている。

災害に強いまちづくり

平成21年8月台風第9号災害では、記録的な豪雨となり、大きな被害をもたらした。また、今後山崎断層帯地震の発生や東南海・南海地震による津波の発生など、様々な災害が危惧されており、災害に強いまちづくりの取り組みの必要性が求められている。

にぎわいのある商店街

商店街の空洞化と居住者の減少が進むことにより、生活拠点としての機能が低下しつつあり、商店街の魅力づくり、空き店舗対策が求められている。

小規模集落対策

西播磨の山間部の小規模集落では、人口が減少し、高齢化が進んでおり、地域の力だけでは、コミュニティを生活圏として維持しつづけることが困難になってきている。広域的な取り組みによる連携と交流により、このような小規模集落への対策が求められている。



【参 考】西播磨地域ビジョン委員等を対象に実施したアンケート調査結果

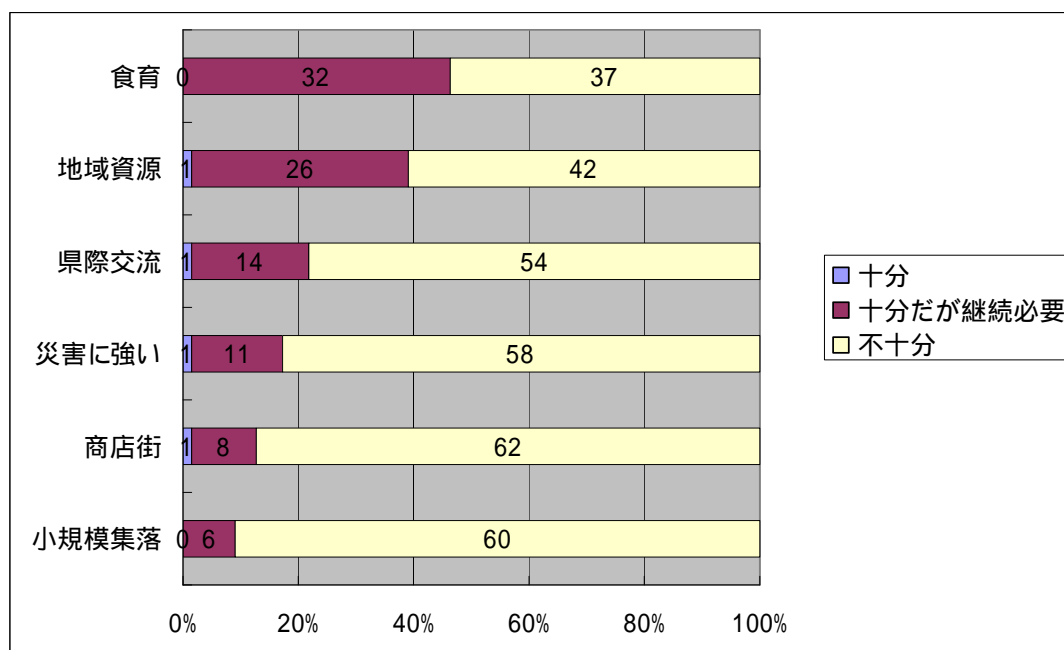
(対象122人、有効回答数75人、回収率61.5%)

1 地域の課題

(1) 現在、十分に取組んでいるかどうか (人)

区分	十分	十分だが継続必要	不十分
食育に関する地域の取組み	0	32	37
地域資源を活かしたまちづくりの取組み	1	26	42
県際交流	1	14	54
災害に強いまちづくりの取組み	1	11	58
にぎわいのある商店街づくりの取組み	1	8	62
小規模集落対策の取組み	0	6	60

(人)



「十分に取組んでいるが継続が必要」とされたものが、「食育」が約半数、「地域資源を活かしたまちづくり」が約4割。一方、「小規模集落」や「にぎわいのある商店街」に関する取組みでは、不十分とされたものが9割前後を占めた。

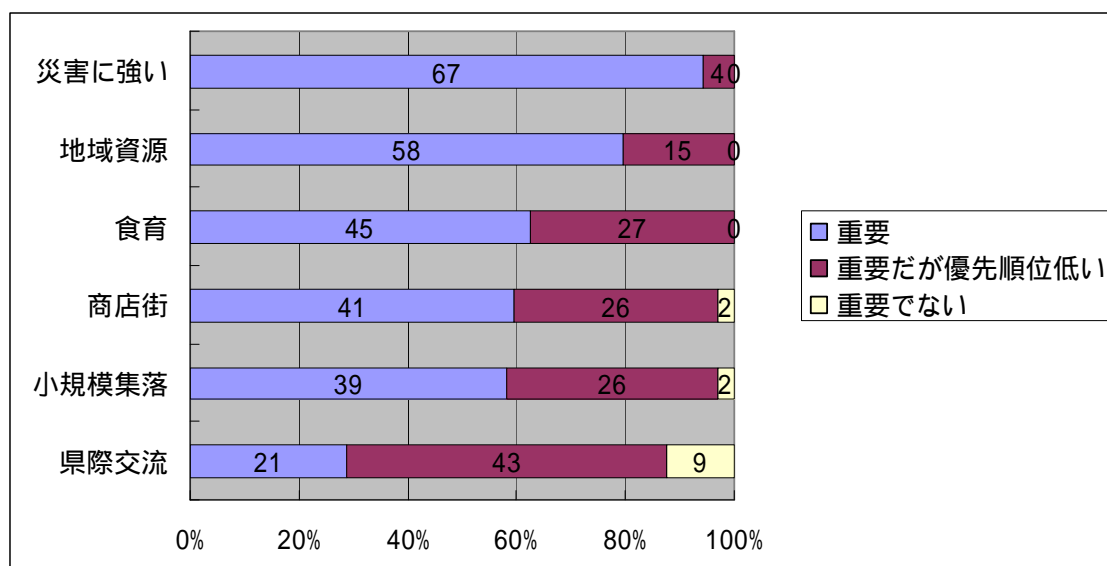
(その他の意見・・・不十分なもの)

子どもの広場づくり、地域交流コミュニケーションの場、地域間交流、地域福祉活動、高齢社会への取組み、環境保全活動に対する取組み、小規模農業振興施設、里山・農地の維持・管理、雇用創出対策、県保有土地の有効活用など。

(2) 将来(5年、10年先)に重要かどうか (人)

区分	重要	重要だが優先順位低い	重要でない
災害に強いまちづくりの取り組み	67	4	0
地域資源を活かしたまちづくりの取り組み	58	15	0
食育に関する地域の取り組み	45	27	0
にぎわいのある商店街づくりの取り組み	41	26	2
小規模集落対策の取り組み	39	26	2
県際交流	21	43	9

(人)



「重要」とされたのは、台風9号による豪雨災害を受けて、「災害に強いまちづくり」が9割を超えた。次いで、「地域資源を活かしたまちづくり」、「食育」と続いた。「県際交流」については、暮らしに直結しないのか、「重要だが優先順位は低い」が「重要」を上回った。

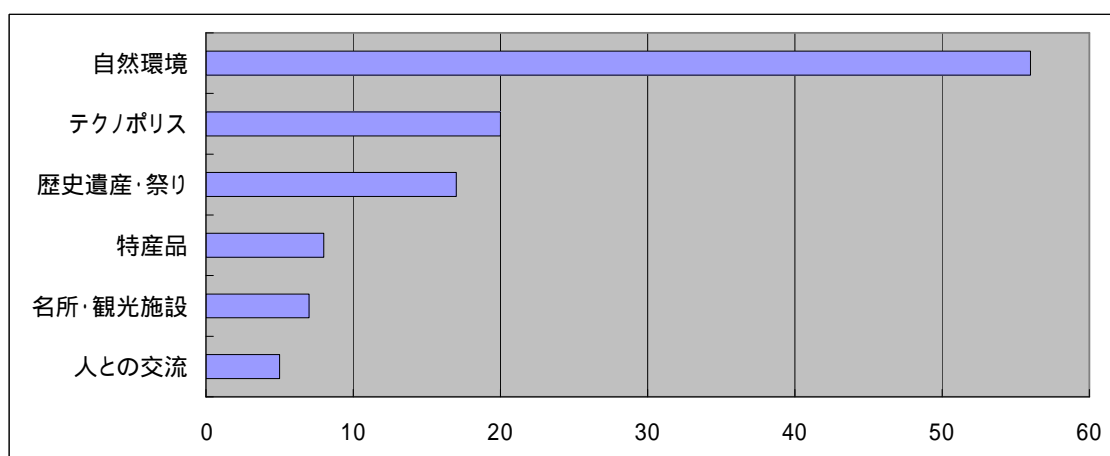
(その他の意見・・・重要なもの)

子育て支援、子どもの広場づくり、命を大切に人間教育、子育て中の親・その親の教育、学校の先生の教育、若者の住みやすいまちづくり、域内交流の活発化、安心して診てもらえる医療機関、高齢者の活用、定年退職者の引きこもり解消の場づくり、地域福祉活動、高齢社会への取り組み、高齢者の住みやすいまちづくり、都市住民との交流、都市と農村の交流、農村への支援、母親が安心して働ける場所、環境保全活動に対する取り組み、工夫した観光開発、県保有土地の活用など。

2 西播磨の地域像

(1) 西播磨の誇り

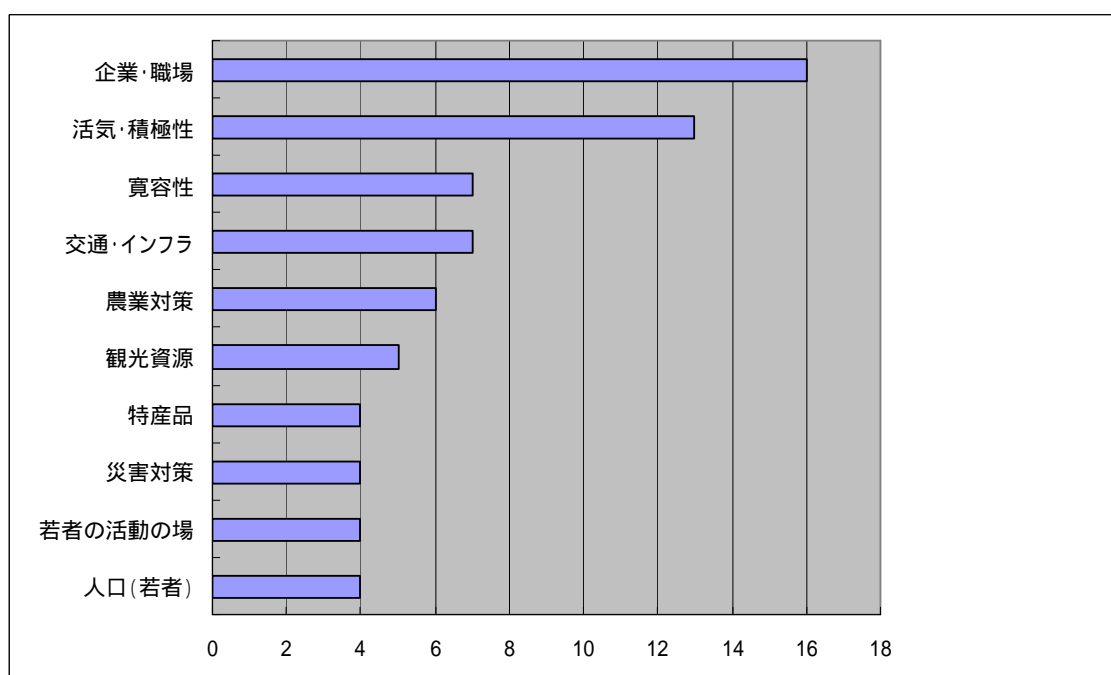
(人)



自由記述としていたが、「豊かな自然」や「清流」など『自然環境』に関するものが多くあげられた。次いで、「SPring - 8」や「粒子線医療センター」など『テクノポリス』に関するもの、たつの市や赤穂市の「歴史遺産」や伝統祭礼があがっている。

(2) 西播磨に足りないもの

(人)



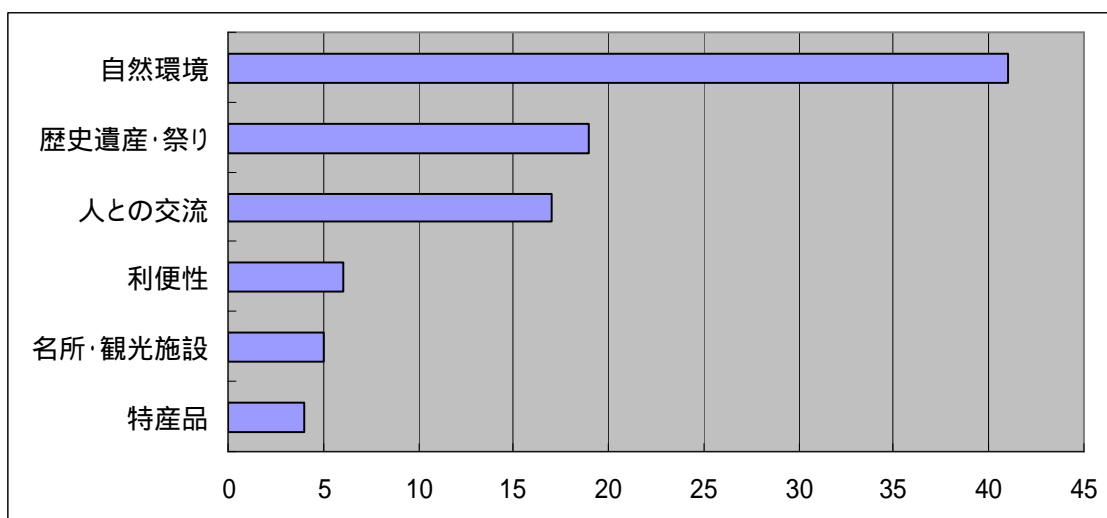
自由記述としており、多岐にわたっている。最も多かったのは、「若者の働ける場所」「企業立地」など。「活気」や「積極性」に欠けるという意見の一方で、「協調性」や「人情」に欠けるという意見もあった。以下「交通・インフラ」、「農業対策」、「観光資源」、「特産品」などがあげられた。

(その他の意見)

公園などの遊び場、市町の連携、小児科や産婦人科、小規模集落や過疎に対する対策、生活環境が良いので危機意識が少ない、地域住民の連携が薄れているなど。

(3) あなたのまちの魅力

(人)



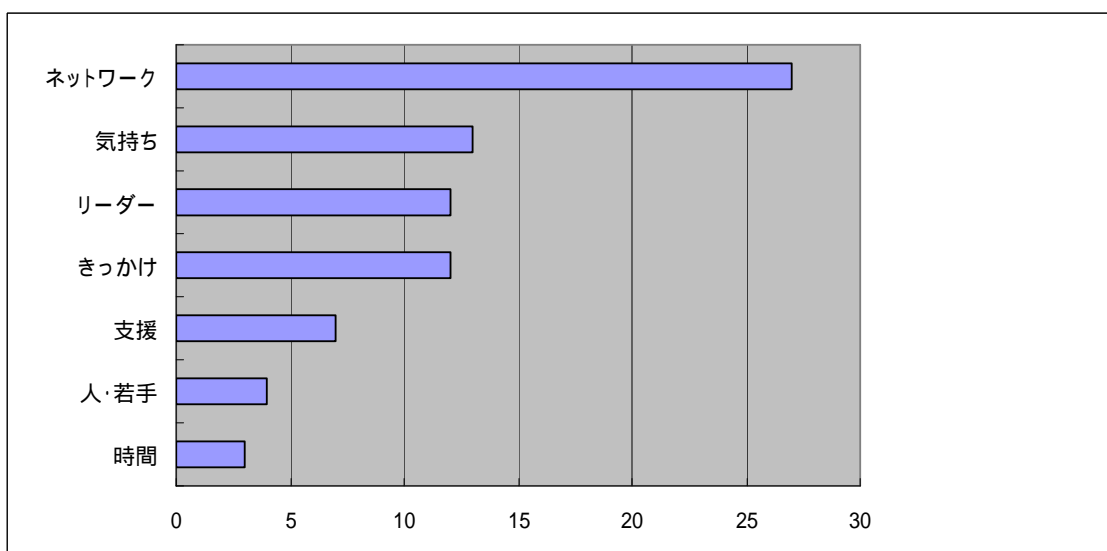
『西播磨の誇り』と同様、「自然環境」が最も多く、次いで「歴史遺産・祭り」、「人との交流」と続く。”西播磨の誇り”で多かった「テクノポリス」関連は1件しかなかった。交通や買い物などの「利便性」が6件あった。

(その他の意見)

安心・安全で犯罪の少ない町、子どもの教育にも良い環境、住環境、変に都会に毒されていないところなど。「やる気・根気・勇気のある住民と、活気・夢のない行政のギャップ」という厳しい意見や、「だんだんなくなっている」、「企業が元気がなく、魅力がない」など。

(4) 意欲を起こし、地域活動の輪を広げるためには何が必要

(人)



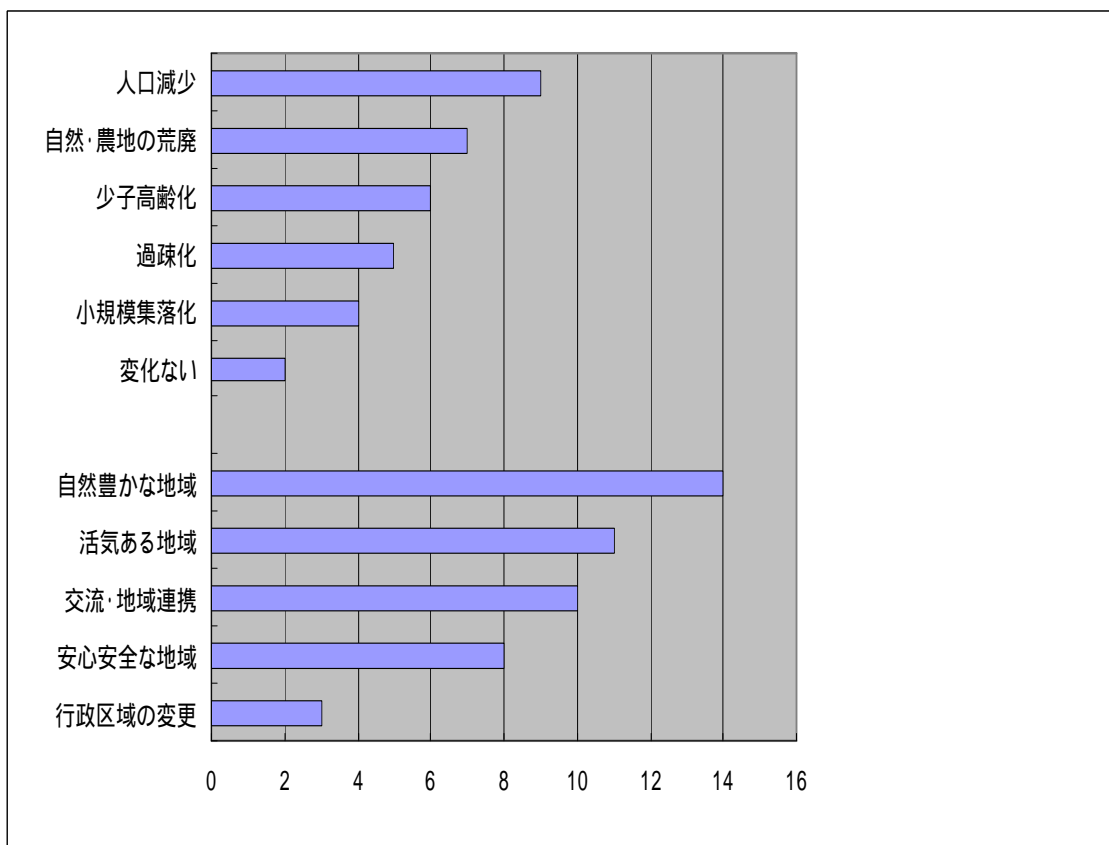
「ネットワークを広げる取り組み」や「活動の拡大」など『ネットワーク』に関するものが最も多かった。次いで「意識の向上」や「勇気」などの『気持ち』に関するものや『リーダー』、『きっかけ』と続く。

(その他の意見)

「まちの活性化」、「テクノを中心としたまちづくり」、「古い組織の活性化」など。

(5) 30年後の西播磨はどうなっている？

(人)



人口減少、少子高齢化と、それに伴う過疎化、自然や農地等の荒廃、小規模集落の増加や消滅を懸念する意見が多いが、変化はない、との意見もある。

「自然豊かな地域」が最も多く、次いで産業の発展や働き場所が増えることによる「活気ある地域」や「交流・地域連携」が進むことを望まれている。

地域の夢

現行地域ビジョン

基本姿勢 一人ひとりの自己実現を大切に、地域でともに生きる

6つの夢と目標像

自己実現社会	生きがいを持って暮らそう	子どもが健やかに育ち「心・体・感性」を伸ばせる地域をめざそう
		女性が働きながら生き生きと暮らせる社会をめざそう
		高齢者は豊かな経験や能力を発揮しよう
		働きがいを追求しよう
		住みなれたふるさとで誇りを持って暮らそう
人の輪社会	人と人が創る豊かな人間関係を広げよう	だれにとっても住みやすいコミュニティをつくろう
		地域全体で子育てを支援しよう
		ボランティア活動を広げよう
		暮らし、福祉などの身近なサービスを提供しよう
		情報がつながるネットワーク社会をつくろう
交通網を充実し、内外交流を充実させよう		
安心安全社会	住みなれた地域で支え合ってともに生きよう	一人暮らしや介護が必要な高齢者が安心して暮らせる地域をつくろう
		障害のある人とその親が安心し、生きがいをもって暮らせる地域をつくろう
		高齢者・障害のある人に優しいまちをつくろう
		安心・充実した医療・福祉サービスを完備しよう
		一人ひとりが健康づくりに取り組もう
防災・防犯・交通安全を徹底しよう		
環境王国	人と自然の営みが調和した循環型社会をめざそう	「ごみゼロ社会」をめざそう
		一人ひとりが環境意識を高めよう
		美しい揖保川、千種川、播磨灘をつくろう
		子どものころ遊んだ美しい森づくりを進めよう
		自然環境に調和した農林水産業と活気ある農山漁村をつくろう
日本の祭都	うるおいとにぎわいのある地域をつくろう	個性とにぎわいの中心市街地をつくろう
		暮らしやすい快適な住まいをつくろう
		芸術・文化・スポーツ施設を活用しよう
		開かれた西播磨文化を創造しよう
		伝統の祭りや新しいイベントを展開しよう
歴史・文化・自然を活かした滞在型観光を進めよう		
世界の光都	世界につながる創造的で活力ある社会をめざそう	企業の創造的活動を支援し、起業家を応援しよう
		テクノポリスを世界一の先端技術集積地にしよう
		産業基盤の整備を進めよう
		播磨科学公園都市のまちづくりを進めよう
		社会貢献する企業を応援しよう
世界につながり、国際交流の盛んな地域づくりをしよう		

改訂地域ビジョン

基本姿勢

～光と水と緑でつなぐ - 元気・西播磨～

4つの夢と目標像

人の輪社会	ふれあいを大切に、豊かな人間関係をつくろう	子育てを地域全体で支援し、子どもが健やかに育つ社会をつくろう
		女性が働きながら生き生きと暮らせる社会をめざそう
		高齢者が経験や能力を活かして、元気に地域で活躍できる社会をめざそう
		ボランティアの輪が広がる、暮らしやすいコミュニティをつくろう
		ふるさとの誇りを持ち、自立した地域をめざそう
		生きがいをもって働ける社会をめざそう
		情報通信技術（ICT）を活かした地域づくりをめざそう

安全安心社会	住みなれた地域で支え合ってともに生きよう	高齢者が安心して暮らせる地域をつくろう
		障がいのある人が安心して、生きがいを持って暮らせる地域をつくろう
		誰もが暮らしやすい「ユニバーサル社会」をめざそう
		医療等や食の安全が確保された安心な地域をめざそう
		いつまでも健やかで心豊かに生活できる社会をめざそう
		災害に強いまちづくりをめざそう
		安全で安心して暮らせる地域をめざそう

環境王国	人と自然が共生する美しい西播磨をめざそう	ものが大切にされる「循環型社会」をめざそう
		低炭素社会をめざし、地球環境を守るライフスタイルをめざそう
		美しい揖保川、千種川、西播磨のなぎさをつくろう
		多様で健全な森づくりを進めよう
		環境に配慮した農林水産業と活力ある農山漁村をつくろう

きざきざ西播磨	にぎわいと交流の元気な地域をつくろう	にぎわいと交流の地域をつくろう
		地域資源を活かした交流を進めよう
		伝統の祭りや新しいイベントを展開し、西播磨文化を発信しよう
		県際交流、国際交流を盛んにし、多文化共生の地域づくりを進めよう
		播磨科学公園都市を中心に産業基盤の整備を進めよう
		企業の創造的活動や社会貢献を応援しよう

第1の夢：人の輪社会・西播磨

“ふれあいを大切に、豊かな人間関係をつくろう”

【西播磨地域ビジョン検討委員会や夢会議等での意見】

難しい言葉より、誠意のこもったわかりやすい親しみやすい言葉で表現したい。

課外授業として、地域活動を行っている者による出前授業等の企画を検討したい。

子どもが“考える力”や“協力しあえる力”“努力できる子”などが生かされる体験の場（環境）づくりに意識を高める。

食育について考え、子ども自らが「食」への意識を持てるような関わり、環境を考えることが必要。

子どもたちが心豊かに生き生き育ち合う地域にしたい。個性も大事だが、ともに育つ温かさを強調したい。

核家族の子育てが孤立しないように地域で支援していく必要がある。

地域の子はわが子を合言葉に地域全体で子育てを支援する。

家庭が大事である。基本は親子の関係が中心である。

女性が働くことは、企業への働きかけが重要なので検討したい。

時短労働、フレックスを含むやわらかい表現の方が受け入れられるのではないか。誇りを持ち働くことに男女の差はない。むしろ子育て期に希望にあった労働形態がチョイス出来ればいい。

働き方も大事でとても必要なことだが、保育環境の充実、安心して預けて働ける環境も重要である。

非正規雇用の労働環境問題が社会化しており、「安心して働ける」環境が重要。

高齢者は、ボランティアを中心とした活動にシフトして、仕事は若者に譲ろう。高齢者は、みなさん何かしたがつている。仕掛けを誰がし、何をするのが大変。

高齢者の知恵を若者が生かす。若者と年配者の交流、お年寄りと若者が気軽に交流できるまち、若者と老人が助け合えるまちへ。

地域の三世代交流を進める。ふれあいいきいきサロンの開催。

地域の行事等を通して大切な人間関係を学ぶ。

子どもたちの自己肯定感・自尊心を高めるには親の愛情に満ち溢れた生育が大切。自己肯定感の強い子は何事にも捨て身になってチャレンジすることができ、失敗をおそれない。親の愛情、それを温かく見守り支える家族や地域の人々が重要である。自然の中での創造的体験も異年齢集団で群れて遊ぶことによる社会性獲得よりもまずは愛情の充足感が必要。それこそ、生きる意欲、希望、困難な時工夫する力の根源は自己肯定感の高さに他ならないと思う。

子どもを地域の人たちの温かい目で見守ったり支援することが大切。

インターネット環境が、各家庭に普及してきている状況の中で、適切な利用が求められている。

【目標像】

(1) 子育てを地域全体で支援し、子どもが健やかに育つ社会をめざそう

- ・子どもを産み育てやすい社会をめざします。
- ・家庭・学校・地域社会がそれぞれ責任を持ち、ルール・モラルを守り、協力して地域ぐるみで子どもを育てます。

- ・家庭から食育に取り組み、子どもの頃から地産地消のライフスタイルなど自ら「食」への関心を高める環境をつくりま

(2) 女性が働きながら生き生きと暮らせる社会をめざそう

- ・家庭と仕事が両立し、働き続けやすい社会をつくりま
- ・誰もが能力を発揮でき、子育てをしながら働ける環境や様々な働き方が受け入れられる社会をつくりま

(3) 高齢者が経験や能力を活かして、元気に地域で活躍できる社会をめざそう

- ・健康で、生涯を通じて学べる環境をつくりま
- ・住みなれた地域で、誇りと生きがいを持ちながら、知識と経験を活かして、地域活動など社会の担い手として活躍しま
- ・地域の三世代交流を進め、高齢者の知恵を若者に伝えるなど高齢者と若者が助け合えるまちづくりを進めま

(4) ボランティアの輪が広がる、暮らしやすいコミュニティをつくろう

- ・さまざまな分野でボランティア活動が広がり、誰もが気軽に参画できる社会をめざしま
- ・地縁コミュニティ(1)を基礎に、連携してさまざまな活動に取り組む地域をめざしま

(5) ふるさとに誇りを持ち、自立した地域づくりをめざそう

- ・伝統文化、祭りなどを通じて、地域のつながりを深め、地域の愛着・誇りを育みま
- ・ふるさとに誇りをもち、地域に密着した仕事に取り組める社会をめざしま
- ・地域内外の交流連携を深め、地域の自立と活性化をめざしま
- ・地域の多様な主体が、連携・協力しながら、地域を支える人材の育成に取り組みま
- ・地域の多様なニーズをきめ細かく満たすコミュニティビジネス(2)が育ち、これを支援していく社会をめざしま

(6) 生きがいをもって働ける社会をめざそう

- ・若者が希望をもって働ける地域をめざしま
- ・生きがいをもって働けるよう、自己研鑽、能力開発に取り組む人を応援しま
- ・ライフステージに応じた就業や生活様式に応じた多様な働き方が選べる社会をめざしま

(7) 情報通信技術(ICT)を活かした地域づくりをめざそう

- ・地域SNSの活用など、情報通信技術を活用した新たな交流のネットワークを地域に広めま
- ・安全・安心に情報通信技術が活用でき、適切な利用ができる地域をめざしま

(1) **地縁(ちえん)**とは、住んでいる土地、過去に縁のあった土地といったつながり合いのことで、地域共同体、町内会、向う三軒両隣といった近隣住民の生活上の助け合い、相互扶助が期待される。地縁コミュニティとは、このような地縁関係の上に成立する自治会・婦人会・子ども会・老人会等をいう。

(2) **コミュニティビジネス**とは、地域住民や有志が集まり、地域の多様なニーズを満たし、社会的役割を担うために有償方式で行う活動をいう。

第2の夢：安全安心社会・西播磨

“住みなれた地域で支え合ってともに生きよう”

【西播磨地域ビジョン検討委員会や夢会議等での意見】

一人暮らしの存在そのものを考え、一人暮らしを減少するために“家族の絆”とか、子どもとしての意識向上を考える必要がある。

2000年に介護保険制度が導入されたが、現在は制度として定着している。障がいのある人が出ていきやすい社会をめざす。

障害者自立支援法がどうなるかだが、障がい者の雇用を促進し、社会の一員として誇りを持って生活できるように地域全体で取り組んでいく姿勢が大事。

「ノーマライゼーション」というのは分かりにくい。

安全安心社会は、福祉を基本に教育・環境・医療などが関わり合っている。経済情勢の悪化により自立支援事業の減少対策が必要。

福祉のまちづくり条例からかなり時間がたつ。ハード面はだいぶ整備されてきたように思う。世代間交流を主眼にソフト面からのアプローチをされてはどうか。「友愛」の気持ちでひとりひとりが幸せを感じられる社会への転換が必要。

医療については、近隣の市町が助け合って取り組んでほしい。

へき地における医師不足、また産科や小児科の医師不足は深刻。医師の確保に努めるのはもちろんだが、地域内での補完機能を充実させるとともに、広域連携やネットワークの構築が必要。

医療に関する地域格差の是正が必要。

健康づくりは、一人では続かないことも、家族や地域ぐるみで活動すると継続しやすい。

生活習慣の改善の指導が重要。

今回の水害により、災害に強い地域づくりのために積極的にアプローチする姿勢を盛り込んでほしい。

防災マップ（ハザードマップ）の検証が必要。

自主防災組織の活性化が必要。

地域全体でパトロールをしたり安全な環境をつくっていききたい。（特に子どもの犯罪防止の徹底）

子どもたちが被害者となる事件も増えているので、家庭、学校、地域の連携が必要。

思いやりが飛び交うまち、顔がわかる（見える）人間関係のまちに。

高齢者（一人住まい）の把握、地域のつながりが大切。田舎ならではの近所づきあい。隣近所で声をかけあい安否を確かめ合う。

地域の人たちとのつながり、声かけ、見守りができるまち。

住民の悩みなどが聞けるような会をつくる。

「みんなの声かけ」運動のまち、あいさつのできるまち、あいさつを掛け合うまち、気軽に声かけあいさつができるまち。

近所同士のコミュニケーションを図る。

【目標像】

(1) 高齢者が安心して暮らせる地域をつくろう

- ・必要とする方には、できるかぎり家族や地域が見守り支援することで、歳を重ねても安心して暮らせる社会をめざします。
- ・家族はもちろん社会全体が介護を支える地域をめざします。

(2) 障がいのある人が安心して、生きがいを持って暮らせる地域をつくろう

- ・障がいのある人の雇用を促進するなど、社会参加を進め、社会の一員として誇りを持って生活できる地域をめざします。
- ・身近なところで、ニーズに応じたサービスを利用することができ、本人の希望や状況に応じた生活スタイルを選択できる社会をめざします。

(3) 誰もが暮らしやすい「ユニバーサル社会」をめざそう

- ・すべての人が社会の構成員として、互いに支えながら共に生きる地域をめざします。
- ・バリアフリーはもちろんのこと、すべての人にとって「よりわかりやすく」「より安全に」「より快適に」暮らせる、優しい住みやすい地域をめざします。

(4) 医療等や食の安全が確保された安心な地域をめざそう。

- ・医療・福祉・介護施設等が連携してネットワークを形成し、安心して医療等のサービス提供が受けられる社会をめざします。
- ・自らの健康を守る意識を持ち、正しい知識に基づいて適切に行動します。特に、新型インフルエンザなど新たな感染症に対しては、迅速かつ正確な情報提供にもとづき、的確な防御行動を行います。
- ・食品の安全に対する関心の高まりに対応するため、地産地消や健康的な食生活の実現に向けた食育を推進するとともに、普及啓発などを進めます。

(5) いつまでも健やかで心豊かに生活できる社会をめざそう

- ・家族や身近な人々と共に健康セルフチェックや健康診断を行い、生涯を通じ健康についての意識を高めます。
- ・食生活をはじめとする生活習慣の改善を行うとともに、体力やライフスタイルにあわせた健康づくりに取り組みます。

(6) 災害に強いまちづくりをめざそう

- ・平成21年台風第9号災害や東日本大震災など度重なる自然災害を教訓とし、住民、企業、行政等が連携して地域防災力の向上を図ります。
- ・地域で防災情報が的確・迅速に伝わり、緊急時に即応できる体制をめざします。
- ・平素から自主防災組織が実践的な防災訓練に取り組むとともに、要援護者に対する救援救護体制を確認しておくなど災害発生時の被害を最小限にとどめることをめざします。
- ・災害発生時に事業の継続・早期復旧がすみやかに可能となるよう、平素からの危機管理体制の強化を進めます。

(7) 安全で安心して暮らせる地域をめざそう

- ・地域でパトロールを実施するなど、防犯意識や交通安全意識を高め、家庭、学校、地域が連携して事故や犯罪などのない安全な環境をつくります。
- ・隣近所や地域の人同士がつながり、声かけや見守り、あいさつができる、思いやりが飛び交うまちづくりを進めます。

第3の夢：環境王国・西播磨

“人と自然が共生する美しい西播磨をめざそう”

【西播磨地域ビジョン検討委員会や夢会議等での意見】

すでに社会的に「大量生産・大量廃棄社会」という発想の転換は行われている。

マイバッグ運動や簡易包装の商品、環境にやさしい商品の利用により、ごみの発生抑制に取り組んでいきたい。

環境問題は私たちの日々の生活における、公德心の問題だと認識をしている。自然公園の中で平気でゴミを捨てたり、吸い殻を捨て、もっとひどいのは「犬」の散歩で糞をさせたり、空き缶をわざわざ公園に持参して捨てる。私たちはこのような現実をしっかりと見つめ直し、一般社会への啓発啓蒙、小中高での学校教育で徹底した環境問題と呼びかけることが大切だ。

ごみ抑制や循環型の考えが必要。ごみゼロというのは理想だが難しい。

ごみ処理有料化も視野に入れて検討が必要。

地球環境の危機的状況を認識すべき。

クリーンエネルギーへの切り替え、温室効果ガスの削減をめざす。

環境保護に取り組んでいる団体を支援するとともに住民の参画を促し、地域全体の取り組みとしていくことが重要。

環境問題は世相的にもごくごく身近な問題と認識をしている。私たち人間の生命をも左右する、根本的な問題であることへの呼びかけが大切。しかし、その認識は深刻にならないければ深まらないのも事実のようなので、1人ひとりの環境に対する認識を深める運動を高めてほしい。

意識を高めるために、学校などでの環境学習をより充実させていく。

千種川圏域清流づくり委員会、西播磨なぎさ回廊づくり連絡会、その他の森・川・海で活動中の団体を地域ビジョン委員会でもとめてシンポジウム等企画してみてもどうか。

「自然災害に強い森」という考え方が必要。

学校教育の中でももっともっと「森林」の果たしている効果をしっかりと教育していかなければならない。

荒廃した山の恐ろしさ、倒木による2次災害、がけくずれ等の認識が必要。地産地消を進めるとともに、生産者との交流を通じた食育を進めることが重要。地域の食材を使った料理を作る。特産品をもっと地域に広め、地産地消を推進し、そこからご当地グルメなどが生まれ活性化につながる。

ENJOY！農業・漁業の活性化を目指してスーパーや給食等で地域の農産物等を使ったり、朝市などで地域の農産物、水産物を広くPRする。

農作業体験や田舎暮らし体験を通して、地域住民と交流を進め、地域の活性化を図ることが重要。

地球温暖化防止に取り組む姿勢が世界的にも形成されつつあり、その中でも「森林」の果たす役割、自然環境を守る努力、そのシステム構築が大切だ、ということを広く呼びかける姿勢を持ちたい。

私達の生命を維持してくれるのは「水」の源となる「山」。その上にある「森林」を見直す機会ではないかと思う。世界的に見ても森林の衰退が砂漠化へ、そして環境破壊へと進展している。森林の偉大な効果を今一度見直してほしい。

【目標像】

(1) ものが大切にされる「循環型社会」をめざそう

- ・資源には限りがあるという認識を持ち、使えるものは大切に長く使い、分別収集やリサイクルに取り組みます。
- ・マイバッグ運動や簡易包装の商品、環境にやさしい商品の利用により、ごみの発生抑制に取り組んでいきます。

(2) 低炭素社会(3)をめざし、地球環境を守るライフスタイルに転換しよう

- ・進行する地球温暖化に対応したライフスタイルの転換に努めます。
- ・地球環境の危機的状況を認識し、太陽光発電をはじめとするクリーンエネルギーへの切り替え、省エネルギー、省資源により温室効果ガスの削減をめざします。
- ・環境保全に取り組んでいる団体を支援するとともに、住民の参画を促し、地域全体の取り組みとしていきます。

(3) 美しい揖保川、千種川、西播磨のなぎさをつくろう

- ・地域の豊かな自然環境のシンボルであるホタルを育む水辺に親しみ、身近な自然環境への意識を高めます。
- ・西播磨の多彩な「なぎさ」を「守り」、「創り」、「楽しみ」、「育む」ことにより、なぎさを舞台に人・地域・情報の交流とネットワークを推進します。

(4) 多様で健全な森づくりを進めよう

- ・森林の持つ多面的な機能を高めるため、森林の伐採、間伐、下草刈りが行われ、自然災害に強い、良質な森林の拡大をめざします。
- ・「県民オアシス - しそう森林王国(4)」など、豊かな自然とふれあい、多彩な交流のできる、多様で健全な森づくりをめざします。

(5) 環境に配慮した農林水産業と活力ある農山漁村をつくろう

- ・水と緑に恵まれた西播磨の地域資源や環境を守るために、地域住民との参画と協働によって活力ある農山漁村づくりを進めます。
- ・地産地消を実現するため、新鮮で安全安心な地元農林水産物を地域住民に供給するとともに、地元食材を食べる運動の展開、地元食材を活かした商品づくりを進めます。また、「食」と「農」の大切さを見直し、食育を進めます。
- ・中小企業者と農林漁業者が連携し、付加価値の高い農林水産業を振興し所得の向上を目指すとともに、後継者や新規就農者に加え集落営農組織など農業の担い手育成を図ります。
- ・都市農村交流拠点施設の情報発信機能を一層強化するとともに、農作業体験や田舎暮らし体験を通して、都市住民と地域住民との交流を進め、地域の活性化を図ります。

(3) 低炭素社会(ていたんそしゃかい, Low-carbon society)とは、二酸化炭素の排出が少ない社会のこと。低炭素型社会、脱炭素社会ともいう。

(4) しそう森林王国とは、旧宍粟郡5町において、平成元年から森林を活かして快適な生活空間・交流空間づくりを進めているもの。拠点エリアとして宍粟市山崎町に「国見の森公園」などが整備されている。

第4の夢：きらきら西播磨

“にぎわいと交流の元気な地域をつくろう”

【西播磨地域ビジョン検討委員会や夢会議等での意見】

平成の大合併により各市町の中心市街地が分散した形になっている。さらに人口減少が進行しつつある今、商・住・遊・ビジネスの集積は不可能に近いものとする。また商店主の高齢化・後継者不足など商店街そのものの存続が危ぶまれている。空き店舗対策、魅力ある商店街づくりの推進は困難な状況である。

合併で市町の数が減ったことから中心市街地の数も減った。旧市町では、支店機能が失われつつあり、寂れるばかり。

新宮町の中心部では市内からの転居による人口増が見られますが、中心部が元気になったかというところでもない。

商店街に活気は戻っていない。魅力ある商店街の再構築は困難というより不可能に近い。パラダイム転換を図り、21世紀にふさわしい新しい街のスタイルを模索していくべきではないかと思う。

市街地再開発、土地区画整理などの面的手法を活用し、住民合意に基づいた住民参加型の街路、公園緑地などの生活インフラの整備を進め、また身近な地域拠点を中心に、地域でともに生きる生活環境の醸成を目指すべき。上下水道や区画整理など進んでいる地域も増えてきているのではないかと。

ハード面の整備は、ほぼ終わっている。これから更に整備していくのは、景気対策の公共事業のようで、将来像としてはどうかと思う。

学校施設を地域住民に開放し、交流を促進する方法で、世代間交流が進めばいい。

もっと姫新線の列車の回数や車両を増やし、駅をきれいにし、内外交流を充実させたい。

既存インフラを有効活用し、交流が促進できるようなソフトメニューを整備し、推進すべき。

西播磨地域を「封建的、閉鎖的」という受け止めは一方的ではないか。そこに“文化、伝統”の源がある気もする。

伝承文化を若い人に継承し“ふるさと大好き”と思える環境をつくっていくことが大切。

現在の播磨を代表するお祭りを内外にPRし、播磨の空気に触れていただくのは良い事だと思う。

祭りを地域で盛り上げ、地域の行事を増やすなど地域の文化を生かし西播磨を活きた町にする。

西播磨ツーリズムなどの動きはあるが、地域が広域過ぎるので、滞在型観光はこれといった宿泊施設が観光資源と隣接していない。また1次産業への懐古が増幅されている昨今の社会状況から見て、体験型（当然宿泊を伴う）観光の提案が今後の交流人口を増やす目玉ではないか。

まだ知られていない播磨の魅力を発掘し、個性的な取り組みをしている人材を発掘し、笑顔と挨拶で、播磨の「おもてなしの心」を域外から来られた方に提供し、心地いい地域を目指したい。

異文化交流は外国との交流にはとどまらなれないと考える。漁村と山村の交流、都市と過疎地の交流も大きな意味で異文化交流ではないか。

日本とか西播磨の良さをアピールし、世界に発信する思いを折り込んで

よいのではないか。

国際化に対応するだけでなく、播磨の特色を出し、個性的で、吸引力のある地域になるような取り組みをすべき。

一般住民にも産業技術が理解、応援できる場の提供も大切。

地元産業を大人から子どもまで皆がそれなりに理解し自慢に思える意識向上の機会がほしい。

播磨科学公園都市に進出している企業だけでなく、地域全体の企業を捉え、その中心が播磨科学公園都市にあるというようなイメージではないか。

【目標像】

(1) にぎわいと交流の地域をつくろう

- ・駅前広場や商店街などの地域中心地区で、特性を活かしたにぎわいのある暮らしやすい「個性をもったまちの顔」づくりを進めます。
- ・一層の人口減少に伴い、増加しつつある小規模集落では、住民、NPO、行政などが連携し、空き家等を活かした地域内外との交流、田畑や山林などの維持管理や利活用を進め、農山村部の再生、持続する集落づくりをめざします。
- ・既存の交通基盤を改良しつつ積極的に活用して、地域間交流を進めます。

(2) 地域資源を活かした交流を進めよう

- ・西播磨のなぎさなど地域の豊かな自然や宿場町などの歴史・文化資源を活かした交流を進めます。
- ・農林水産業の体験や、地産食材で郷土料理を提供するなど、“おもてなし”で体験型観光や滞在型観光を促進します。

(3) 伝統の祭りや新しいイベントを展開し、西播磨文化を発信しよう

- ・西播磨には、豊かな自然環境や地域で培われた祭りや伝統文化が保存・継承され、また新しいイベントも各地で活発に開催されています。これらを活用して人々が親しみ、楽しめる地域を作るとともに、西播磨文化を発信していきます。

(4) 県際交流、国際交流を盛んにし、多文化共生の地域づくりを進めよう

- ・西播磨地域の特性を活かし、岡山県や鳥取県との県際交流など広域的に出会いや交流を深めます。
- ・国際化に対応したまちづくりや異文化とふれあう仕組みづくりを推進します。また、外国人県民の文化、言語、生活習慣の違いを認め合う多文化共生の地域づくりを進めます。

(5) 播磨科学公園都市を中心に産業基盤の整備を進めよう

- ・Spring-8(大型放射光施設)やSACLA(X線自由電子レーザー施設)、県立大学及びニュースバル(中型放射光施設)、放射光ナノテク研究所などを活かし、優れた人材が集い、世界一の先端技術の集まる地域をめざします。
- ・工業団地などの都市基盤を活用して、西播磨経済をリードする商工業、流通などのビジネス拠点の形成をめざします。

(6) 企業の創造的活動や社会貢献を応援しよう

- ・日本を代表する地場産業や先端科学技術を活用した企業の集積を活かして地域経済の発展を目指すとともに、企業の新技術の開発など企業の創造的活動を応援します。
- ・地域との連帯感を強め、社員や住民の地域活動を支援する社会貢献活動を行う企業を応援します。

新たな地域の夢を実現するための重点プログラム

この重点プログラムは、「改訂版 地域ビジョン」の実現のため、地域住民主体の協働プロジェクトなど、西播磨地域での取組の指針となる具体的項目をまとめた。あわせて、西播磨地域のシンボルとなるべきプロジェクトを掲げる。

1 西播磨重点アクション項目

主として地域ビジョン委員会が中心となって、具体的に取り組むことが検討されるべき重点アクション項目を例示的に掲げる。

(1) 第1の夢：人の輪社会・西播磨

“ふれあいを大切に、豊かな人間関係をつくろう”

アクション1：子育て支援情報の収集と発信

アクション2：青少年の健全育成活動

アクション3：インターネット（地域SNS）の活用による交流の推進

(2) 第2の夢：安全安心社会・西播磨

“住みなれた地域で支え合ってともに生きよう”

アクション4：福祉（安全安心）マップなどの作成

アクション5：医療機関の適切な利用の呼びかけ

アクション6：自主防災組織の活性化と住民の防災・減災意識の啓発

アクション7：防犯・交通安全の意識啓発

(3) 第3の夢：環境王国・西播磨

“人と自然が共生する美しい西播磨をめざそう”

アクション8：環境学習の推進

アクション9：森・川・海の活動の連携と意識啓発

アクション10：マイバッグ運動やゴミゼロ運動など生活環境問題

アクション11：地産地消、地元製品のブランド化などの取組

(4) 第4の夢：きらきら西播磨

“にぎわいと交流の元気な地域をつくろう”

アクション12：県際交流の推進

アクション13：地域資源を活かした交流の推進

アクション14：地域のにぎわいづくり

アクション15：鉄道やバスなど公共交通機関の利用促進

(1) 第1の夢：人の輪社会・西播磨

“ふれあいを大切に、豊かな人間関係をつくろう”

アクション1：子育て支援情報の収集と発信

目的

子育て中の人を支援するとともに子育て支援団体の連携を図り、地域全体で子育てを支援する

内容

西播磨各市町の子育て支援の情報を収集し、情報誌を作成し、子育て支援団体や子育て中の人などに配布する。

情報誌には、子ども対象のイベント情報や子育ての悩み解消法、食育に関する記事などを掲載する。



情報誌「わっ!と西播磨」
(ビジョン委員会 作成)

アクション2：青少年の健全育成活動

目的

地域ぐるみで子どもを育てる

内容

高齢者が経験や知識を活かして、地域に出かけ子どもに絵本の朗読や昔遊びなどを教えることにより、楽しみながらしつけや社会性を学ばせ交流を広げる。



論語の素読

アクション3：インターネット（地域SNS）の活用による交流の推進

目的

情報通信技術を活用した新たな交流のネットワークづくり

内容

地域コミュニティを再生し、元気にしていくため、地域SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用してインターネット上の交流と実際の地域コミュニティが連動する仕組みづくりを行う。

ビジョン委員会の情報提供や意見交換に地域SNSを活用する。



兵庫県エリアの地域
SNSサイト「ひよこむ」

(2) 第2の夢：安全安心社会・西播磨

“住みなれた地域で支え合ってともに生きよう”

アクション4：福祉（安全安心）マップなどの作成

目的

高齢者や障がい者が安心して外出でき、地域で楽しめる各種のマップを作成し、社会参加を支援する

内容

高齢者や障がい者が、西播磨地域を安心して観光ができるよう、各地の施設の状況や利用できるサービスをまとめた「西播磨観光福祉マップ」を作成する。



西播磨観光福祉マップ
(ビジョン委員会作成)

アクション5：医療機関の適切な利用の呼びかけ

目的

地域の医療を地域で守る活動を展開する

内容

医師と住民が、地域医療のパートナーとして、医療に理解ある地域づくりをすすめる。

「コンビニ受診」（軽症にもかかわらず重症者のための夜間二次救急を自己都合で受診すること）を控えるなど、適切な医療機関の受診についての呼びかけを展開する。



「病院に行く、その前に」
(龍野健康福祉事務所作成)

アクション6：自主防災組織の活性化と住民の防災・減災意識の啓発

目的

災害に強い安全安心なまちづくりを推進する

内容

自主防災組織への啓発を行い活性化を推進する。

地域住民一人一人が防災や減災の意識を持つよう啓発活動を行う。



自主防災組織に関する
アンケート調査報告書
(ビジョン委員会作成)

アクション7：防犯・交通安全の意識啓発

目的

住民の防犯や交通安全の意識を高め、安全な環境づくりを推進する

内容

地域でパトロールを実施するなど、安全な環境づくり運動を展開する。

危険箇所マップを作成するなど、防犯・交通安全の呼びかけを行う。



子どもたちの登下校を
見守る防犯グループの活動

(3) 第3の夢：環境王国・西播磨

“人と自然が共生する美しい西播磨をめざそう”

アクション8：環境学習の推進

目 的

西播磨の自然の豊かさを子どもたちに伝える

内 容

森・川・海に子どもたちが交流する場を設け、森林・清流・豊かな海の大切さとそのつながりを互いに発表し、環境保全のために今何をすればいいのか子どもたちに考えてもらう。

地域住民がどのようにして豊かな自然を守ってきたのか、子どもに話し伝える学習会を開催する。また、子どもたちに自然の大切さを教えられる人材の養成を図る。



水生生物調査（たつの市）

アクション9：森・川・海の活動の連携と意識啓発

目 的

西播磨の自然を守ろうとしている団体の連携を図る

内 容

西播磨の森・川・海をフィールドとして活動している団体（千種川圏域清流づくり委員会、西播磨なぎさ回廊づくり連絡会など）を対象に、自然環境に関するシンポジウムを開催するなど、団体間の連携を図る。



千種川圏域清流づくり委員会
チチコ釣り大会（佐用町）

アクション10：マイバッグ運動やゴミゼロ運動など生活環境問題

目 的

生活環境に関する地域の意識を醸成する

内 容

マイバッグ運動や簡易包装の商品、環境にやさしい商品の利用を推進する。

ゴミの抑制やリサイクル運動を推進する。



レジ袋無料配布中止1周年
記念イベント（たつの市）

アクション11：地産地消、地元製品のブランド化などの取組

目 的

地産地消の推進や地元製品のブランド化により農林水産業を盛んにする

内 容

食文化の見直しや朝市、料理教室の開催などを通じて、地元製品の良さをPRする。

地元製品のブランド化に向けた取組を地域内外にPRするなどの支援を行う。



旬彩蔵山崎

(4) 第4の夢：きらきら西播磨
“ にぎわいと交流の元気な地域をつくろう ”

アクション 12：県際交流の推進

目的

岡山県や鳥取県との交流を盛んにし、県際地域のにぎわいをつくる

内容

西播磨地域の特性を活かし、岡山県や鳥取県の県境地域との交流を盛んにするために、県際交流を目的に活動する団体と連携してイベントを開催するなどして、県際地域のにぎわいを創出する。



J R 赤穂線沿線地域イベント
相生かきまつり

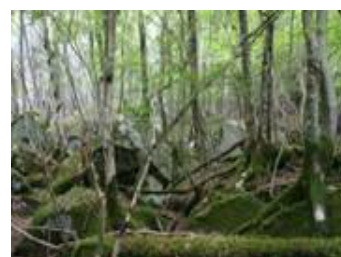
アクション 13：地域資源を活かした交流の推進

目的

西播磨の地域資源の発掘と発信により、他地域との交流を促進する

内容

西播磨のなごさや森林などの豊かな自然や、宿場町や城跡などの歴史・文化資源を紹介するなど、西播磨の魅力を他地域に発信する。



岩塊流（宍粟市一宮町千町）

アクション 14：地域のにぎわいづくり

目的

空き空間を活用して、交流によるにぎわいを創出する

内容

空き店舗、空き家をイベントや展示即売に有効活用して、他地域からの訪問によるにぎわいを取り戻すとともに、都市部でのPRイベント等を開催する。

小規模集落や農山村部での広域単位での地域交流を促進するための、イベントや交流を支援する。



都市との交流イベント
餅つき大会（上郡町行頭地区）

アクション 15：鉄道やバスなど公共交通機関の利用促進

目的

公共交通機関を地域でまもる

内容

姫新線をはじめとする鉄道やバスなどの利用促進に取り組み、地域の足である公共交通機関は地域で守る運動を展開する。



地域の足 姫新線

2 シンボルプロジェクト

つながるひろがる「出る杭」西播磨元気プロジェクト

交流と魅力発信で元気な西播磨をつくる -

(1) 趣 旨

西播磨地域は、夢をもって新しい分野に挑戦し西播磨を元気にしようと取り組んでいる団体や個人を「出る杭」として育成し、地域を活性化していく「出る杭プロジェクト」を推進してきた。

今後も頑張る組織や人を応援し、それぞれをつなぐ交流を進めるとともに、西播磨の誇るべき歴史・文化・伝統、産業、自然環境などに目を向けその魅力を地域内外に発信し、元気な西播磨づくりをめざす。

(2) 実践活動例

地域間の交流と西播磨の魅力発信

- ・地域の活動団体の交流などを通して地域や人のつながりを深める。
- ・西播磨の自然環境・伝統文化など魅力を発信し広げる。

西播磨の歴史・文化・伝統の再発見

- ・「播磨風土記」から地域のルーツを探り、地域の歴史・文化を知る。
- ・歴史・文化のネットワークを構築し、地域内外に西播磨の誇りを情報発信する。

「道」を活用した地域間交流

- ・旧街道、宿（山陽道、出雲街道、因幡街道など）の活用
- ・たたら製鉄の道（揖保川 堺、三木へ、岡山吉井川 備前へ）のネットワーク再構築
- ・塩の道（赤穂塩の流通ルート）のネットワーク再構築

「出る杭フェスティバル（仮称）」の開催

- ・「出る杭大会」を充実・発展させ、地域の様々な活動団体の交流と、西播磨各地域に伝わっている芸能（獅子舞、歌舞伎、笛、太鼓など）などの披露も加えた「出る杭フェスティバル（仮称）」を開催する。



第10回出る杭大会

西播磨地域ビジョンの実現に向けて

1 西播磨地域ビジョンの策定

2001（平成13）年2月、県民主役・地域主導のもと、西播磨県民局・中播磨県民局を対象区域とする「西播磨地域ビジョン」が策定された。そこでは、2015（平成27）年を目標に、「一人ひとりの自己実現を大切に地域でともに生きる」を基本姿勢として、自己実現社会、人の輪社会、安心安全社会、環境王国、日本の祭都、世界の光都という6つの夢をめざすことが示された。

今回、ビジョン策定から10年が経過し、人口減少社会などの時代の変化やビジョン実現に向けたこれまでの取組をふまえ、西播磨地域にふさわしい内容に見直した「改訂版西播磨地域ビジョン」を策定した。新たなビジョンは、2020（平成32）年を目標に、「光と水と緑でつなく - 元気・西播磨」を基本姿勢として、人の輪社会、安全安心社会、環境王国、きらきら西播磨の4つの夢をめざすこととしている。

2 西播磨地域ビジョンの推進

現行地域ビジョンでは、ビジョンの夢を達成するため、県民自らが取り組む具体的な行動を盛り込んだ「県民行動プログラム」と、県行政が取り組むべき施策を盛り込んだ「地域行政推進プログラム」を合わせた「西播磨地域ビジョン推進プログラム」を策定して取り組んできた。

改訂版西播磨地域ビジョンでは、県民自らが取り組む具体的な行動については、本文32P「新たな地域の夢を実現するための重点プログラム」に、西播磨重点アクション項目とシンボルプロジェクトとして盛り込んでいる。ビジョン推進に向けて県行政が取り組むべき施策については、毎年度「地域経営プログラム」を西播磨県民局が策定し推進することとしている。

ビジョンの推進にあたっては、地域住民・団体と行政の参画と協働のもと、西播磨地域ビジョン委員会が中心となって、NPO、団体、自治会等地域の様々な地域活動団体との連携を図るとともに、ビジョン委員OBや学識経験者、他地域のビジョン委員会とも交流・連携を図りながら取り組んでいく。

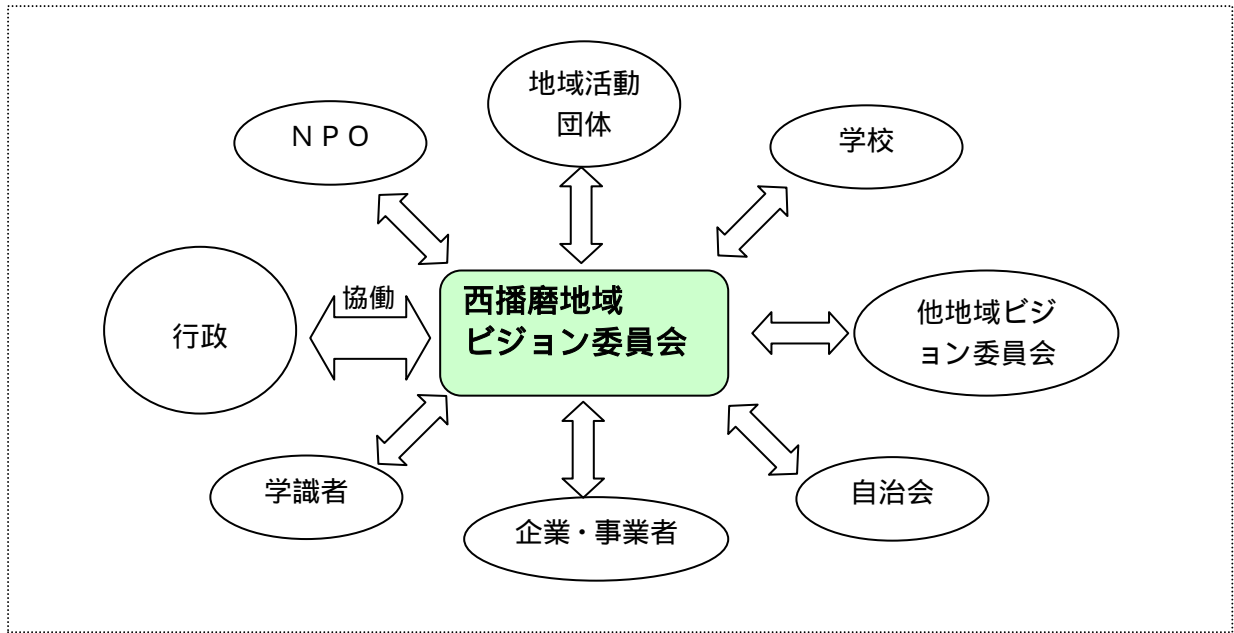
3 西播磨地域ビジョンのフォローアップ

西播磨地域ビジョンは、21世紀前半の西播磨地域のめざす姿を示したものであるが、今後とも社会経済情勢の変化や住民の価値観もますます多様化、複雑化していくものと思われる。このため、このたび改訂したビジョンについては、常に時代の変化等に応じた柔軟な点検と見直しによるフォローアップを行っていく必要がある。

フォローアップについては、今後とも西播磨県民局ホームページでの情報発信、地域ビジョン情報誌「きらきら通信」の作成・配布などを行うほか、住民同士が自由に議論し、地域のさまざまな課題や将来像を考える場として、ビジョンづくりの大きな力となった西播磨地域夢会議を引き続き開催する。

また、県ではビジョンの実現状況を評価するツールとして、県民アンケート（意識調査）により「美しい兵庫指標」を作成してビジョンの点検・評価を行っているが、今後この指標を、さらに、環境、安全・安心、つながりなど多角的に地域の強み、豊かさを評価する「地域力指標」として再編・充実させ、ビジョンの将来像の実現状況の確認、県民による自立的な取組の継続や新たな取組への動機付けに活用するなど指標を用いたフォローアップの仕組みづくりに取り組んでいく。

< 推進体制のイメージ図 >

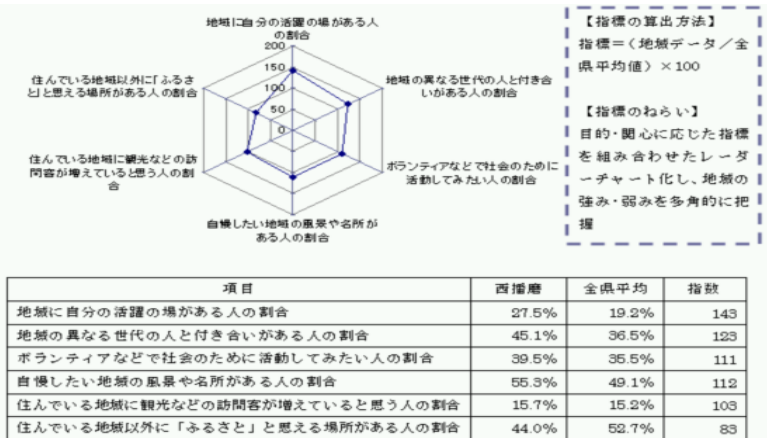


< 指標を用いたフォローアップの仕組み例 >

(1) 統計調査等により得られる指標の作成

地域ビジョンの掲げる将来像に対応したものを適宜設定し、ビジョンの実現状況を表す多様な主観指標や取組の到達目標にどれだけ近づいたかを把握できる指標を選ぶ。

(右図は主観指標の例)



(2) 地域資源数え上げ型指標の作成

西播磨地域の強みとなる地域資源を住民主体で発掘・再発見し、取組につなぐ指標として、地域ビジョンのめざす方向性に沿ったシンボリックな項目を設定することとし、地域の伝承文化や歴史、ライフスタイルなど地域ごとの強みを浮き彫りにした指標をめざす。

(西播磨の地域資源数え上げ型指標の例)

- ・ 県際交流イベントの数
- ・ 地域の特産品を活用した料理の数(ご当地グルメの数)
- ・ S P r i n g - 8 で行われた先端研究の数
- ・ 歴史資源(宿場町、城跡、神社仏閣等)の数
- ・ 祭り、伝統芸能の数
- ・ 引原ダムのカヌー利用者の数 など

【資料1 1】

西播磨地域夢会議の概要

日 時：平成22年3月6日（土）13:30～16:00
場 所：宍粟市役所 1階市民ロビー及び4階会議室
参加人数：約150名
主 催：西播磨地域ビジョン委員会・西播磨県民局

1. 開催趣旨

21世紀初頭の西播磨づくりをめざし、地域住民、団体などが共有できる将来像を描き、その実現に向けた住民と行政の行動指針として「西播磨地域ビジョン」を平成13年に策定してからおよそ9年が経過した。これまでビジョンの実現に向けたさまざまな取り組みが行われ、そして新たな課題も見えてきた。

人口減少、少子・高齢化が進む中で、「これからの地域づくりに必要なビジョンとは何か」という視点から、“光り輝く西播磨地域”を実現するために、広く意見交換を行う「西播磨地域夢会議」を開催した。

2. テーマ

「幸せ発信！西播磨」
～ “わっ！” で未来へつなげよう～



3. プログラム

(1) 【第1部】プレゼンテーション

「西播磨の未来、兵庫の未来」 西躰和美 兵庫県ビジョン担当課長

(2) 【第2部】ワークショップ（テーマ別討論）

- ・『健やかな子どもを育てよう』（人の輪社会）
- ・『子ども達に贈る安心な西播磨』（安心安全社会）
- ・『西播磨の豊かな自然と農村の振興』（環境王国）
- ・『伝えたいふるさとの誇り』（西播磨きらきら）

(3) 交流会（休憩）

(4) 【第3部】全体討論

- ・ワークショップの結果発表、意見交換、専門委員コメント
- ・高校生による意見発表
- ・総括コメント



西播磨地域夢会議各テーブル意見～抜粋・要約～

意見総数 4 1 1 件

テーブル番号	テーマ	意見
1 2 3 4	健やかな子どもを育てよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣を身に付けさせる ・ 両親が良い行いの手本を示す（親の教育） ・ 食育、地産地消を推進し自給率の高い地域にしたい ・ 学校、地域、家庭の情報共有と支え合い ・ 世代間の交流、ふれあう場所、時間の構築 ・ 親子の日を作る（子どもの行動に親が参加する日） ・ 子どもが少なく、結婚しても都会で生活している ・ 子ども医療の充実 ・ 登下校、遊び場、公園の安全管理 ・ 子育て世代への理解と見守り
5 6 7	子ども達に贈る安心な西播磨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の顔が見えるまちづくり ・ 子ども達の見守り等の防犯活動グループ支援 ・ 家庭での減災対策、家具の固定化の推進 ・ 自主防災組織、自治会等の活動を活性化する ・ 義務化された火災報知器の取り付けの普及 ・ 祭りや冠婚葬祭の付き合いをする（地域のつながり） ・ 地域で情報、食料等を必ず確保できる施設を確立 ・ 自分の命は自分で守る
8 9 10 11	西播磨の豊かな自然と農村の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い人が農村生活できる環境づくり ・ 人工干潟でもいいから子どもが水遊びできる海岸に ・ 間伐材の利用で整備された災害に強い森林にする ・ 獣害減少策の推進、動物と共生できる仕組みづくり ・ 体験農業、いなか暮らし、有機農業を3つの輪として都会との交流を図りたい ・ 荒廃田に山菜等を植栽して山菜狩りに使う ・ 森、川、海的环境改善 ・ 団塊世代の活用、ふるさとへ帰る機会を作る
12 13 14 15	伝えたいふるさとの誇り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統、文化、自然、特産品、科学技術、人など知られていない地域資源がたくさんある ・ 中山間地域 そこそこ都会に近い、そこそこへんぴ！ ・ 知り合いだらけという安心感 ・ まず自分達で歩いてみる ・ イベント、新聞、TV等を通じての情報発信、都市と農村の交流をはかりたい ・ 人材育成、ネットワークの再構築、課題の共有

西播磨地域夢会議の概要

日 時：平成22年8月7日（土）13:30～16:30
場 所：太子町立文化会館 あすかホール
参加人数：約130名
主 催：西播磨地域ビジョン委員会・西播磨県民局

1. 開催趣旨

21世紀初頭の西播磨づくりをめざし、地域住民、団体などが共有できる将来像を描き、その実現に向けた住民と行政の行動指針として「西播磨地域ビジョン」を策定してから9年が経過した。

県では、人口減少、少子・高齢化が進む中で、現行の地域ビジョンの見直しを行い、改訂版の地域ビジョンを策定することにしており、このたび中間案をとりまとめた。この中間案をもとに、幅広い年齢層の方々により西播磨地域の夢・将来像を語り合う「西播磨地域夢会議」を開催した。



2. テーマ

「西播磨“夢”バトル」 ～高校生とともに西播磨の夢を語ろう～

3. プログラム

(1) 【第1部】プレゼンテーション

改訂版「西播磨地域ビジョン」中間案について
西播磨地域ビジョン委員会 委員長 山本 建志

(2) 【第2部】ワークショップ（テーマ別討論）

- ・『ふれあいを大切に豊かな人間関係をつくろう』（人の輪社会）
- ・『住みなれた地域で支え合ってともに生きよう』（安心安全社会）
- ・『人と自然が共生する美しい西播磨をめざそう』（環境王国）
- ・『にぎわいと交流の元気な地域をつくろう』（きらきら西播磨）

(3) 交流会（休憩）

(4) 【第3部】全体討論

- ・高校生による結果発表
- ・参加者全員による意見交換
- ・専門委員によるコメント



西播磨地域夢会議各テーブル意見～抜粋・要約～

意見総数 402件

テーブル番号	テーマ	意見
1 2 3	ふれあいを大切に 豊かな人間関係をつ くろう (人の輪社会)	<ul style="list-style-type: none"> ・世代交流ができる場所、機会づくり ・地域のイベントを増やす ・保育園を増やし女性が働きやすい環境をつくる ・地域の文化を生かし西播磨を活きた町にする ・地域で活動する団体のネットワーク化 ・親子の絆を大切に楽しい明るい家庭を ・子どもが安全に遊べる場所をつくる
4 5 6	住みなれた地域で 支え合ってともに生 きよう (安心安全社会)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時にいち早く情報発信してほしい ・子どもを守る良いシステム作り ・一人暮らしの老人の把握 ・バリアフリーの充実で住みよい街づくりをめざそう ・救急医療センターなどの充実 ・高齢者と若者がもっとふれあえる社会 ・隣保で話し合う時間を作る ・安全パトロール隊の編成
7 8 9	人と自然が共生する 美しい西播磨をめざ そう (環境王国)	<ul style="list-style-type: none"> ・有機作物を奨励し地産地消を促進 ・間伐材の処理等整理された自然に強い森にする ・資源ごみはリサイクル、分別収集 ・ゴミをださない商品づくり運動を ・夏休み等を利用して子どもが自然と関わる(遊ぶ)機会を作る ・街路樹等を植える事で緑あふれる西播磨をめざす ・毎月特定の日を決めクリーンデイとして活動
10 11 12	にぎわいと交流の 元気な地域をつくら う (きらきら西播磨)	<ul style="list-style-type: none"> ・西播磨内での文化的交流(芸術、文化、天文等) ・県境を越えて交流の輪をひろげていく ・青少年の行動に関心を持とう ・各市町共通のイベント情報局の設置 ・播磨科学公園都市の空地の有効利用(ショッピングモール、企業、遊園地等) ・定住人口を増やす ・若い人が定着する地域に ・播磨科学公園都市のマスコットキャラクターをつくって地域のPRをする

【資料1 3】

西播磨地域夢会議の概要

日 時：平成23年3月19日（土）12:40～15:30
場 所：スピカホール（佐用町）
参加人数：約140名
主 催：西播磨地域ビジョン委員会・西播磨県民局

1. 開催趣旨

西播磨を若者が住みたい、住み続けたいと思えるまちにしていきたい。西播磨の豊かな自然や人間関係を求めて、都会からも多くの人々が訪れ、移り住んでほしい。そんな魅力ある西播磨にしていくために何ができるかを考えます。

高校生など幅広い年齢層からの参加により、西播磨地域の将来を考え、これからの地域づくりにつなげていくとともに、現在見直しを行っている「改訂版西播磨地域ビジョン」に反映するため「西播磨地域夢会議」を開催しました。

2. テーマ

「若者が住みたいまち」～このまちで何ができるか、何をしたいか～

3. プログラム

(1) 【第1部】プレゼンテーション

改訂版「西播磨地域ビジョン」原案について

西播磨地域ビジョン委員会 委員長 山本 建志

(2) 【第2部】ワークショップ（グループ討議）

- ・『人の輪社会・西播磨』
- ・『安心安全社会・西播磨』
- ・『環境王国西播磨』
- ・『きらきら西播磨』

(3) 交流会（休憩）

(4) 【第3部】全体討論

- ・ワークショップの結果発表
- ・参加者全員による意見交換
- ・副知事総括コメント



項目	意見
人の輪社会	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の親と経験者とのつながりの場を持っていないといけない ・高齢者福祉より若い人が子育てしやすいように考えよう ・社協が推進しているふれあいサロンの活動に自治会や自治体の協力が必要 ・町に働き口（大きな会社）が少ないので若者が出てしまう ・様々な地域から転住してきた住民同士の心のつながりを日常的にどう構築していくかが課題 ・若者と年配者がふれあえる授業をしてほしい ・他県との交流を進めて若者の出会いの場を設ける
安心安全社会	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所の見直し、行政との連携強化、消防団と自治会との連携 ・人への思いやりの心が大切、小さいことから始めていく ・月に一度でもよいから地区全体の会合ができるようになったらよい ・市役所、公民館などに非常食などを蓄えておく ・高齢者（一人住まい）の掌握 ・地域のつながりが大切 ・地域の若者が望んでいることをあらためて聞いてあげる ・近くに病院や買い物ができる場所があること、職業が安定していることが大事
環境王国	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のメンバー参加による環境改善研修会を実践する ・月ごと、年ごと地区内クリーンデイを設定し美化に取り組む（統一グリーンデイ） ・農家、漁師に対して特別な手当を出す ・ディーゼル車の規制 ・農作物が販売できる体制があれば若者が田舎に入りやすい ・森林等の仕事がある住環境を整備する ・おいしい食べ物がある、名産（カキ、塩など）を生かす
きらきら西播磨	<ul style="list-style-type: none"> ・就職先がない状況 ・仕事があることが一番 ・にぎわいづくりに地域のイベントはかかせない ・でっかいショッピングモールを！ ・観光地の保護を進めて残す ・国際交流を通して他の文化や食文化を取り入れる ・都会より田舎のほうが土地が安い、安い県住をつくる ・地域限定のマスコットキャラを増やす ・バスや鉄道の利用促進

【資料1 4】

西播磨地域夢会議の結果概要

日 時：平成23年6月5日(日) 13:00～16:20
場 所：県立先端科学技術支援センター 大ホール(上郡町)
参加人数：約150名
主 催：西播磨地域ビジョン委員会・西播磨県民局

1. 開催趣旨

現在見直しを行っている改訂版「西播磨地域ビジョン」(案)及び「新しい21世紀兵庫長期ビジョン(原案)」の周知と意見交換に加え、西播磨地域ビジョン委員がこれまで取り組んできた2年間の活動報告とこれからの活動目標について発表会を行いました。

また、先の東日本大震災で大きく取り上げられている、放射能・放射線の影響やこれから予想されるエネルギー問題について、有識者による講演会を開催しました。

2. テーマ

「未来へつなげよう西播磨から」～地域を活かす夢のかけ橋～

3. プログラム

13:00～ 開会あいさつ

西播磨地域ビジョン委員会委員長 山本 建志
兵庫県西播磨県民局長 藤原 由成

13:10～ 第1部

「新しい21世紀兵庫長期ビジョン(原案)」プレゼンテーション

兵庫県政策監 高井 芳朗

改訂版「西播磨地域ビジョン」(案)プレゼンテーション

西播磨地域ビジョン委員会委員長 山本 建志

意見交換

講評

兵庫県副知事 金澤 和夫

14:20～ 第2部

活動発表

第5期西播磨地域ビジョン委員会各推進チーム

コメント

兵庫県副知事 金澤 和夫

講演

講師 兵庫県立大学環境人間学部 教授 熊谷 哲 氏

テーマ 「原発事故と親子で取り組む省エネ」

16:20～ 閉会あいさつ

西播磨地域ビジョン委員会副委員長 田寺 智砂子

プレゼンテーションの概要

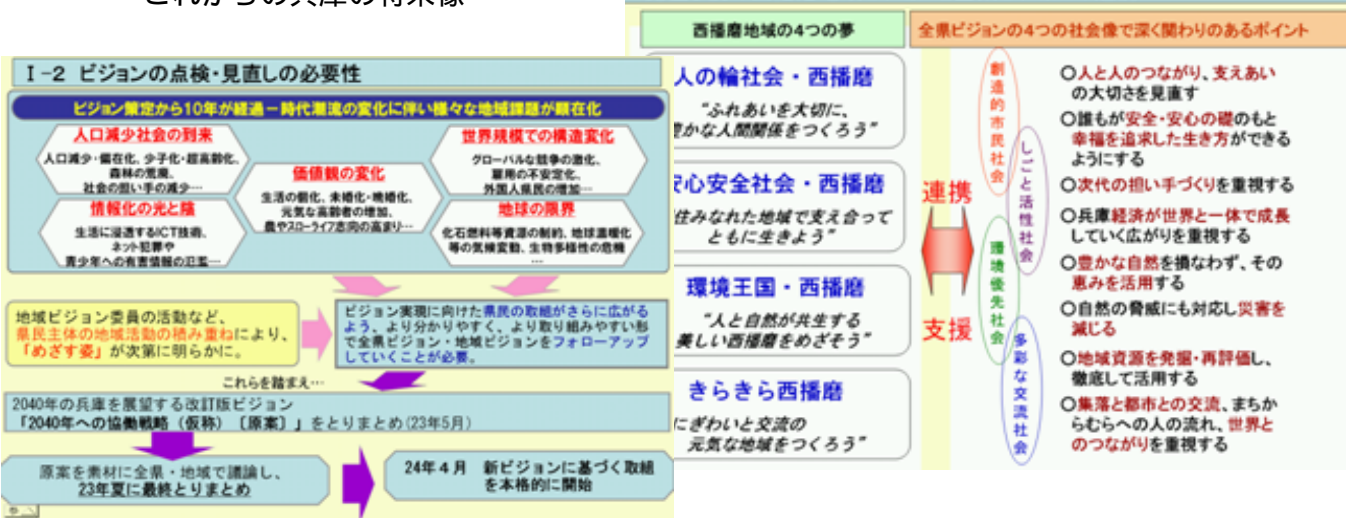
(1) 「新しい21世紀兵庫長期ビジョン(原案)」プレゼンテーション

<主な項目>

- 1 21世紀兵庫長期ビジョンの概要と改訂版策定の趣旨
- 2 ビジョンの点検見直しの必要性
- 3 改訂版全県ビジョンの展望年次・想定年次
- 4 改訂版全県ビジョンの役割

ビジョン策定後明らかとなった時代潮流の変化
 県民意見・地域ビジョンの改訂過程から見ためざすべき姿
 見てきた課題群
 これからの兵庫の将来像

見直し後の西播磨地域ビジョンと全県ビジョンの連携



(2) 改訂版「西播磨地域ビジョン」(案)プレゼンテーション

<主な項目>

- ビジョンの実現に向けた活動等のふりかえり
- ビジョンの基本姿勢の見直し
- 「～光と水と緑でつなぐ-元気・西播磨～」
- ビジョンの夢・目標像の見直し
- 第1の夢 人の輪社会・西播磨
- 第2の夢 安全安心社会・西播磨
- 第3の夢 環境王国・西播磨
- 第4の夢 きらきら西播磨
- 新たな地域像を実現するための重点プログラム
- 西播磨重点アクション項目
- シンボルプロジェクト



【資料2】

兵庫みらいフォーラム（H21.10.10 姫路会場）のテーブル意見

テーブルテーマ	未来	取組
2040年・共に助け合う地域とは	広域社会意識のネットワークづくり ・ 地域間交流を深める ・ 自然環境にやさしい人づくり、助け合いのできる人間関係	公共交通機関の活用促進 空き家、空き店舗の利用 医療 人と人のつながりを大切に 伝統文化の継承、親睦 山川海をきれいに ゴミゼロ運動
2040年・環境にやさしい暮らし方とは	ホタルの飼育を子どもたちとのコラボレーションによるホタルの山里を作り	水を汚さない 川の清掃 等
	お金がなくても豊かで、ゆとりある暮らし	子どものための環境教育・実践
2040年・地域に根ざした「しごと」とは	若者が地元で根ざした仕事を伝承していく	教育(世代を超えた交流を活発にする。その場所をつくること。)
2040年・地域を越えた交流の姿とは	豊かな山村	若者が中心となる就業
	地域・世代を超えたコミュニケーション	どこでも受けられる医療 地産地消



【資料3】西播磨地域ビジョン検討委員会

西播磨地域ビジョン検討委員会名簿

ビジョン委員	地域ビジョン委員会の役職	備 考
山本 建志	委員長	委員長
田寺 智砂子	副委員長	副委員長
三島 澄子	広報部会長	
多田 智子	人の輪社会分科会 代表 子育て支援推進チームリーダー	
木村 晴美	(人の輪社会分科会) 子育て支援推進チームリーダー	
竹添 和彦	人の輪社会分科会 副代表 健やかな子ども応援チームリーダー	
山本 富士子	安全安心社会分科会 代表 地域福祉推進チームリーダー	
田中 正博 (第4回から)	(安全安心社会分科会) 防災・防犯推進チームリーダー	第3回まで長久 薫 分科会代表兼リーダー
関根 正道	環境王国分科会 代表	
村下 龍彦	(環境王国分科会) 生活環境推進チームリーダー	
垣内 光義 (第10回から)	(環境王国分科会) 農村来夢チームリーダー	第9回まで小沼 寛樹 リーダー
重兼 亘	西播磨きらきら分科会 代表 はーとふる西播磨推進チームリーダー	
和井 秀明	(西播磨きらきら分科会) 県境エーとこ発掘推進チームリーダー	

専門委員	職 名	備 考
熊谷 哲	兵庫県立大学環境人間学部教授	
田端 和彦	兵庫大学生涯福祉学部教授	
坂本 薫	兵庫県立大学環境人間学部准教授	
谷川 和昭	関西福祉大学社会福祉学部准教授	
依田 吉充	獣医師 第2期西播磨地域ビジョン委員会 委員長	

特別委員	職 名	備 考
岡田 國秀	第3期ビジョン委員会委員長	
宮井 偵次	第4期ビジョン委員会委員長	

アドバイザー	職 名	備 考
森 正枝	子どもの遊び場を考える会（ビジョン委員OB）	
堀田 品子	ひょうご森のインストラクター（ビジョン委員OB）	
丸井 利春	兵庫県地球温暖化防止推進員（ビジョン委員OB）	

開催実績

回数	日時・場所	議 題
1	平成21年9月10日 西播磨総合庁舎会議室	テーマ(1) 人と人をつなぐ『輪』づくり
2	平成21年10月16日 県立先端科学技術支援 センター多目的室	テーマ(1) 人と人をつなぐ『輪』づくり テーマ(2) 美しい『環』づくり
3	平成21年11月19日 西播磨総合庁舎会議室	テーマ(3) なごやかな『和』づくり
4	平成21年12月14日 西播磨総合庁舎会議室	テーマ(4) 元気に『ワッ』と西播磨づくり
5	平成22年2月4日 県立先端科学技術支援 センター多目的室	テーマ(5) シンボルプロジェクト
6	平成22年3月26日 西播磨総合庁舎会議室	テーマ(5) シンボルプロジェクト テーマ(6) まとめ
7	平成22年4月26日 西播磨総合庁舎会議室	テーマ(5) シンボルプロジェクト テーマ(6) まとめ
8	平成22年5月25日 西播磨総合庁舎会議室	テーマ(5) シンボルプロジェクト テーマ(6) まとめ (ビジョン見直し中間案の提示)
9	平成22年9月26日 県立先端科学技術支援 センターセミナー室	中間案に対する意見とその対応について (原案の提示)
10	平成23年4月12日 西播磨総合庁舎会議室	原案に対する意見とその対応について (最終案の提示)
11	平成23年8月30日 西播磨総合庁舎会議室	最終案に対する意見とその対応について (最終案決定)

改訂版

西播磨地域ビジョン

～光と水と緑でつなぐ - 元気・西播磨～

平成23年10月

西播磨地域ビジョン委員会
西播磨県民局

事務局：兵庫県西播磨県民局県民室県民・ビジョン課

〒678-1205

兵庫県赤穂郡上郡町光都2-25 兵庫県西播磨総合庁舎内

電話：(0791)58-2115, 2128

ファクス：(0791)58-0523